

LX

LX600



優雅な移動体験を提供し、ライフシーンを広げる LEXUS フラッグシップ SUV

次世代LEXUSの第2弾モデルとして

多様化するお客さまのニーズやライフスタイルに寄り添うことをめざす

LEXUSの姿勢を示すべく、LXが誕生。

掲げた走りのコンセプトは「世界中のどんな道でも楽に、上質に」。

「信頼性」「耐久性」「悪路走破性」をベースに

乗り心地や静粛性などを磨き上げることにより

いかなる場所においても快適で上質な時間を乗員へ提供しつつ

お客さまのライフシーンを一層豊かなものに昇華します。

CONTENTS

PAGE

FEATURES

02

DRIVING

03-19

DESIGN

20-39

EXECUTIVE

40-46

OFFROAD

47-48

TECHNOLOGY

49-65

EQUIPMENT

66-69

INFORMATION

70-82

※画像は一部実際の仕様と異なります。

LXの主な特長

上質な走りの進化を実現した素性の刷新

- GA-FプラットフォームをLEXUSとして初採用。慣性諸元を追求し、質量の大きなエンジンユニットをより後方に配置することで、車両の前後重心点を最適化。
- 質量の大きいエンジンのダウンサイジング化や新AHCの軽量化に加え、ルーフ素材を軽量のアルミニウムへ置換。徹底した低重心化と約200kgの軽量化を実現。
- 上質な走りを実現する3.5ℓ V6ツインターボガソリンエンジンを新たに採用。

Lexus Driving Signatureを追求したオンロード走行性能

- 新開発の高出力、高トルクのツインターボエンジンにより、アクセルの踏み始めからシームレスでリニアな加速を実現。
- 初採用の電動パワーステアリング[EPS]やボディへの構造用接着剤の採用などにより、ステアリング操作、アクセル操作に対する素直な応答性を実現。

磨き上げられたオフロード走行性能

- 悪路走破性と上質な居住空間を両立する、初代から継承し続ける2,850mmのホイールベースや、すぐれた対地障害角(アプローチアングル、デパーチャーアングル、ランプブレークアングル)。
- マルチトレインセレクト、クロールコントロールの進化に加え、マルチトレインモニターやデュアルディスプレイの採用など、オフロードでの運転を支えるさまざまな最新技術を採用。

多様化するお客さまのニーズに寄り添う新たなグレードラインアップ

- 後部座席に最大48度*までリクライニング可能なシートと後席専用コンソールを備え、あらゆる路面において最上級の快適性を提供する4座独立仕様の“EXECUTIVE”を設定。
- 力強い走破性を感じさせるデザインと、専用の前後デフロックを備え、LEXUSの新たなオフロードイメージを提案する“OFFROAD”を設定。

機能性と優雅さが調和したLEXUSの次世代デザイン言語に沿ったプロポーション

- フラッグシップにふさわしい、力強さと圧倒的存在感に、洗練さを兼ね備えた佇まい。
- 機能に根差した次世代LEXUSのデザインランゲージを追求した新しいスピンドルグリルにより、立体的かつメッキフレームがないことによるボディとの一体感を際立たせ、塊感を表現すると同時に冷却機能や整流効率といった機能を両立。
- クルマとの対話を生み出すTazuna Conceptに基づき、表示類やその他スイッチ類を配置し、悪路でも少ない姿勢変化で、クルマを意のままに操ることのできるコックピット空間を実現。

人間中心の考え方に基づいた先進安全技術と利便性向上

- LEXUS初採用の指紋認証式プッシュスタートスイッチにより、盗難リスクを低減。
- 利便性をより一層向上させた最新のマルチメディアシステムを採用。
- お客さまの安全・安心な運転に寄与するLexus Safety System+の機能を拡充。

*リラックスモードスイッチでのリクライニング角は最適なポジションとなる41度を設定しています。

新GA-Fプラットフォームの採用や200kgの軽量化などによる、クルマの素性の刷新

世界中のどんな道でも、楽に、上質にお客さまに運転をしていただくために、伝統とも言えるボディオンフレーム構造は維持しつつも、走りの進化を支える基本的な素性を抜本的に見直しました。

新プラットフォームであるGA-Fプラットフォームの採用や、クルマの骨格を一から見直すことで、徹底した低重心化と軽量化、さらにボディ剛性の向上といったクルマの素性から刷新することで、走りの飛躍的な向上を実現しています。



軽量化素材と技術により軽さを革新したボディ&フレーム

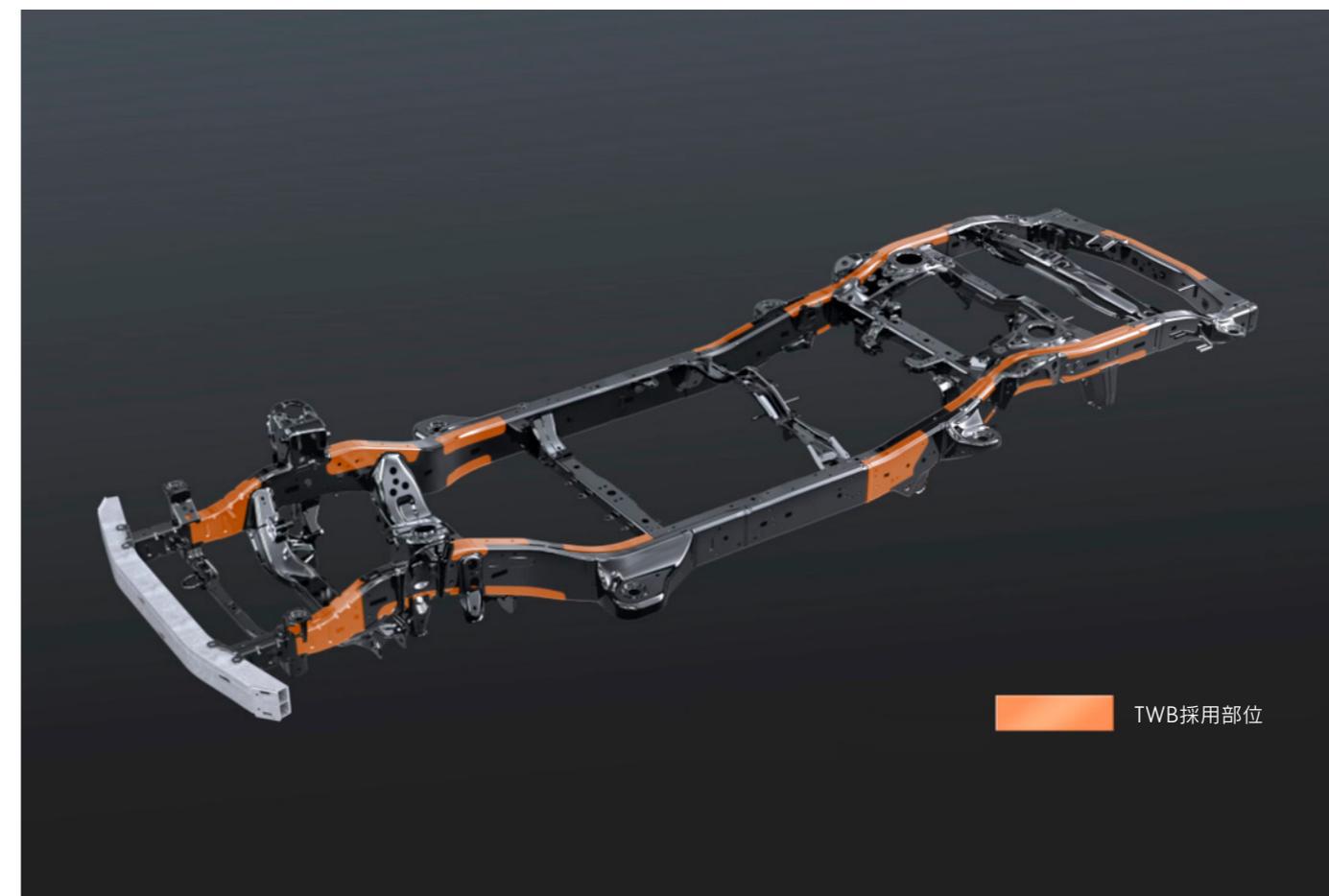
軽量ボディ

高張力鋼板の採用を拡大した上で、慣性モーメントに影響を与える車両重心点から高い位置・遠い位置のボンネット、ルーフ、全ドアパネルにアルミニウムを採用。軽量化・低重心化と高強度なボディの両立を実現しました。旋回時や加減速時の自然で滑らかな車両挙動と、すぐれた操縦安定性を実現します。



軽量フレーム

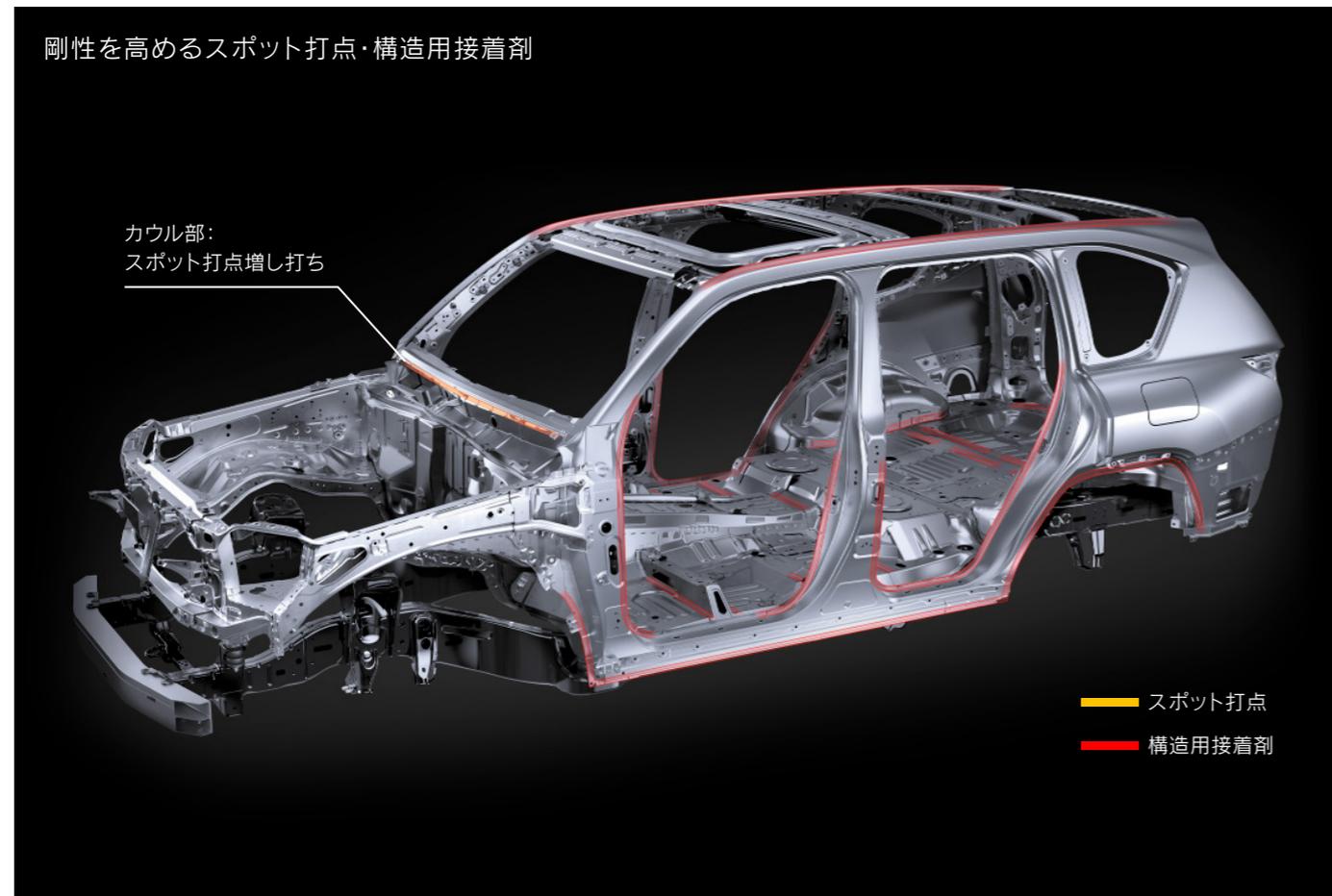
厚板と薄板の鋼板をレーザー溶接によって結合し、プレス成形するTWB(曲線テーラード・ウエルドブランク)を用いた工法により、強度と剛性を維持しつつ、軽量化を実現しました。サイドレールやクロスメンバーの強度・剛性、および衝突安全性能への感度・影響が高い部位にこの技術を採用しています。



レスポンスと乗り心地を高め、上質な走りを生む、高剛性ボディ & フレーム

高剛性ボディ

操舵時のボディ変形挙動をコンピューター解析し、スポット打点増し打ちやドアオープニング周り、フロアへの構造用接着剤の最適配置などによりねじり変形を抑えることで、すぐれたボディ剛性を実現。オフロード性能はもちろん、オンロードでの操舵応答性や手応え、リヤのグリップ感、すぐれた乗り心地、レクサスらしい走りの質感を確保します。



高剛性フレーム

乗員の生存空間であるボディや、パワーユニット、燃料タンクなど走行に重要な部品へのダメージを大幅に低減する、すぐれた堅牢性を実現。悪路走行時に応力を受けやすい部分のサイドレール断面特性を最適化し、路面からの入力に対する強度、剛性、衝突安全などの性能バランスを取るために9本のクロスメンバーを最適に配置しました。さらに最大5mmの厚鋼板や、高張力鋼板を適材適所に配置することで、悪路走行時に受ける衝撃にも車体の歪みが抑えられ、操縦安定性や乗り心地への影響を低減します。また、フレームにキャブマウントを介し、ボディが架装されているフレーム車の構造は、オフロードの走行時などに、ボディへ損傷を受けた場合でも、クルマの基本走行性能を支えるフレームへの影響を及ぼすことが少なく、万が一の場合でも乗員の安全を確保しながら目的地をめざします。



あらゆる道での走破性と操縦安定性を実現するサスペンション

上質な乗り心地、制動時の安定した車両姿勢、路面からのショックや振動を吸収するすぐれた車両安定性を実現するサスペンション。オフロードでは、卓越したホイールアーティキュレーション（タイヤの浮きづらさ）により、モーグル路のような、タイヤの浮きが発生しやすい路面においても接地性にすぐれ、駆動力が路面に伝わることで高い走破性を発揮します。

フロント・ハイマウントダブルウィッシュボーン式サスペンション

サスペンションジオメトリおよびコイルスプリングのばね定数を最適化し、すぐれた車両安定性と乗り心地を両立します。また、オフロード走破性の重要なファクターであるサスペンションストロークをバウンド、リバウンドともに十分な長さを確保し、すぐれた路面追従性と悪路走破性を実現します。

リヤ・トレーリングリンク車軸式サスペンション

信頼性の高い車軸式を継承しつつ、サスペンションアーム、ショックアブソーバー配置と特性を作り込み、車軸の動きをコントロールしやすくすることで、すぐれた車両安定性と乗り心地を両立します。また余裕のリバウンドストローク長により、すぐれた路面追従性を確保しています。

リヤショックアブソーバー

フレームを曲げることで外側へ配置し、アブソーバー取付角度を車軸の動く角度に合わせることでタイヤの上下動に追従しやすくなり、すぐれた減衰効果を発揮。路面からのショックや振動を吸収する、すぐれた車両安定性を実現します。



フロントサスペンション



リヤサスペンション

リニアでシームレスな加速を実現するパワーTRAIN [1] V6 3.5ℓ ツインターボエンジン

最高出力305kW(415PS)、最大トルク650N・mを発生。マルチホール直噴インジェクタ付D-4STの採用とロングストローク化、バルブ挟角の最適配置による高速燃焼と高効率ツインターボが力強い低速トルクとすぐれた過給レスポンスを生み出します。また高効率ツインターボにより、低速から立ち上がるワイドでフラットなトルク特性を実現し、オンロードでもオフロードでも力強く扱いやすい動力性能とすぐれた燃費・環境性能を両立しています。

急勾配や悪路環境での走行を考慮したLX専用設計

登降坂および左右の車体傾斜45度までのオイル供給性能を維持するために、オイルパン、オイルストレーナ等の潤滑系部品を最適設計しました。岩石路面や急勾配斜面でのエンジン信頼性を確保します。また、渡河や多塵環境下でのSUV特有の使い方を想定し、防水・防塵性能が高いベアリングやオイルシールを採用しています。

LX600“EXECUTIVE” / LX600

Fuel Consumption

8.0km/ℓ (WLTC MODE)

5.5km/ℓ (市街地モード)

8.3km/ℓ (郊外モード)

9.7km/ℓ (高速道路モード)

LX600“OFFROAD”

Fuel Consumption

8.1km/ℓ (WLTC MODE)

5.5km/ℓ (市街地モード)

8.4km/ℓ (郊外モード)

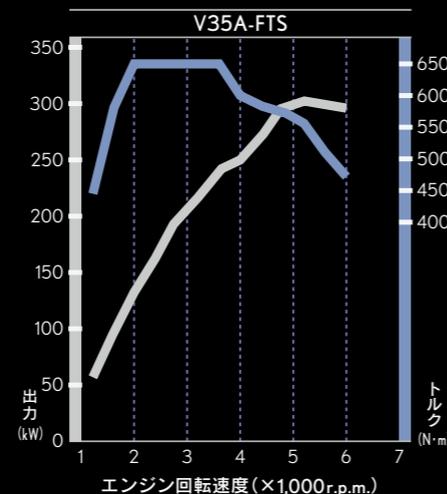
9.8km/ℓ (高速道路モード)

V6 3.5ℓ (V35A-FTS)

Displacement: 3,444ℓ

Maximum Power [NET]: 305kW (415PS) / 5,200r.p.m.

Maximum Torque [NET]: 650N・m (66.3kgf・m) / 2,000~3,600r.p.m.



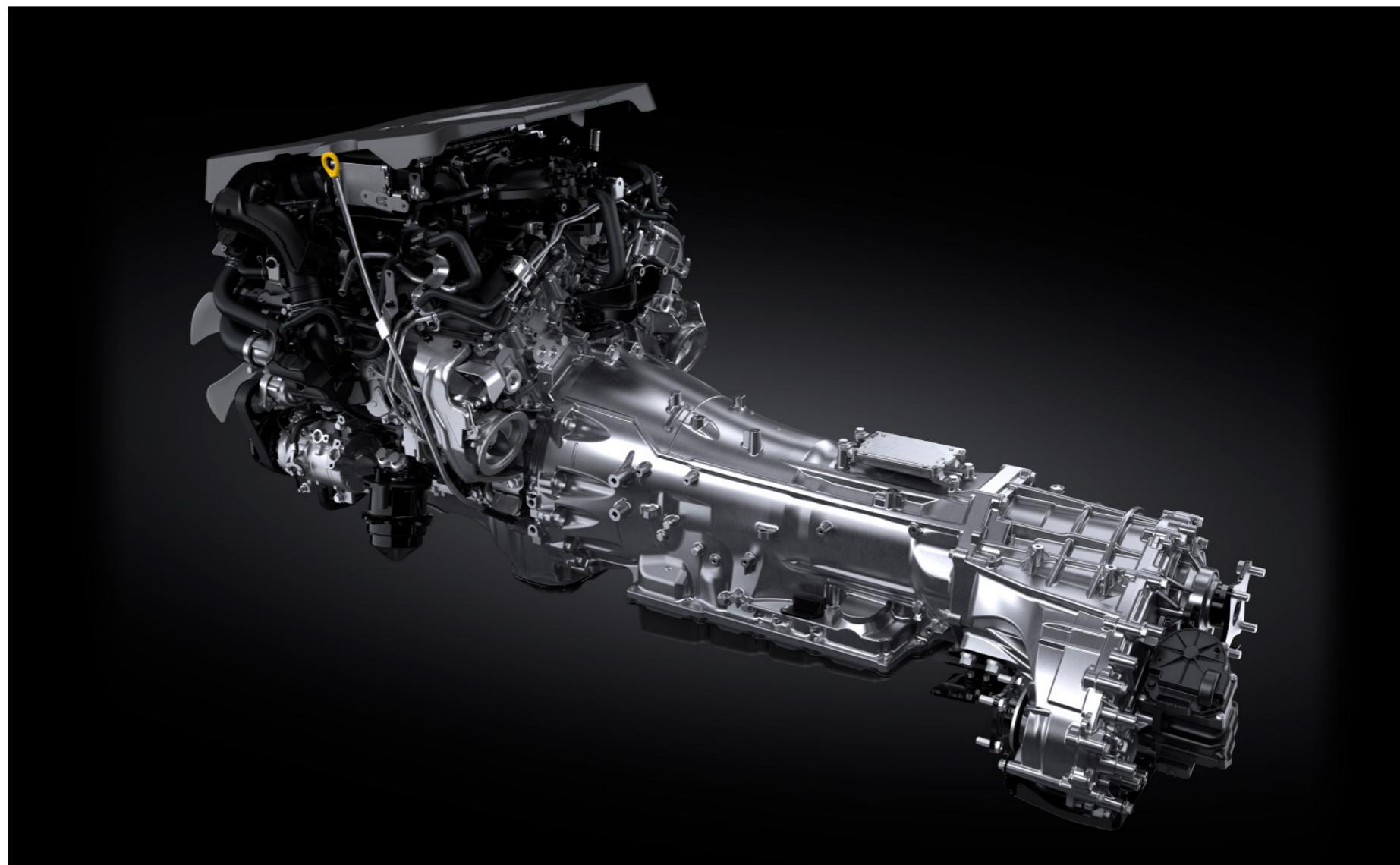
※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

リニアでシームレスな加速を実現するパワートレイン [2] Direct Shift-10AT

発進時を除くほぼ全域でロックアップを作動させ、ダイレクトなフィーリングを実現。また、10速化により、ギヤステップのクロス化、全体のギヤレシオのワイドレンジ化を実現し、リズミカルで心地の良い走りのリズムと、高速燃費、発進加速、オフロード性能の向上を同時に果たしています。さらに、駆動力特性と変速タイミングを最適化。高回転域までの伸びやかなトルク特性を引き出すような気持ち良い加速感を生かし、ドライバーの意思に寄り添った力強い加速を実現しています。



「Lexus Driving Signature」を追求したオンロード走行性能

ドライバーの意図に忠実でリニアな応答を実現する、レクサス独自の走りの味「Lexus Driving Signature」を妥協なく作り込みました。クルマの素性の刷新に加えて、新開発パワートレーンや、電動パワーステアリング[EPS]、電子制御ブレーキ[ECB]を採用することで、減速、操舵、加速がシームレスにつながる気持ちの良い走りを実現。同時に新開発AHC & AVSによる接地感、力感、安心感のある走りを両立しました。伝統のオフロード走破性と車両安定性はそのままに、すぐれた車両コントロール性と乗り心地を実現しています。



あらゆる道での走行と安心感に寄与するAHCと、上質な乗り味を実現するAVS

AHC

AHCは使用環境に応じて車高を調整できるシステムです。車高ポジションはNormal・Hi1・Hi2および乗降時のLoを基本とし、ドライブモードセレクト、マルチテレインセレクト、トランスファーの選択状況に応じて最適な車高を自動で調整。さらにピッチやロールといった車両姿勢の変化にも対応し、ばねレートを随時最適化することにより、旋回や加速・減速時の車両姿勢を安定させます。また乗降モードON時は、乗降時に車高をLoに下げて乗り降りしやすくし、走り出すと自動で車高をアップします。

オフロードでは、トランスファー・ローレンジ(L4)選択やマルチテレインセレクトのモード選択と協調し、道路環境に合わせてHi1またはHi2に自動調整。Hi1、Hi2が選択された時は、車速に応じて最適な車高に自動調整し、路面との干渉回避と操縦安定性を両立します。車高の状態はメーターパネルと7インチタッチディスプレイに表示され、容易に確認することができます。



Normal選択時の表示画面



選択した車高を点灯表示

AVS

減衰力切り替え応答性の良いリニアソレノイド式を採用することにより、路面や走行状態に応じてきめ細かく、滑らかな制御を実現します。街中で段差を乗り越えるような時には減衰力を低めに設定して快適な乗り心地を、ステアリング操作時は減衰力を高めることでフラットな安定感を確保します。さらにドライブモードに合わせて減衰力も変化し、ドライバーの好みに合わせた走りに寄与します。

ドライバーの意図に忠実な走りへ貢献する電動パワーステアリングと、安全・安心を高める電子制御ブレーキ

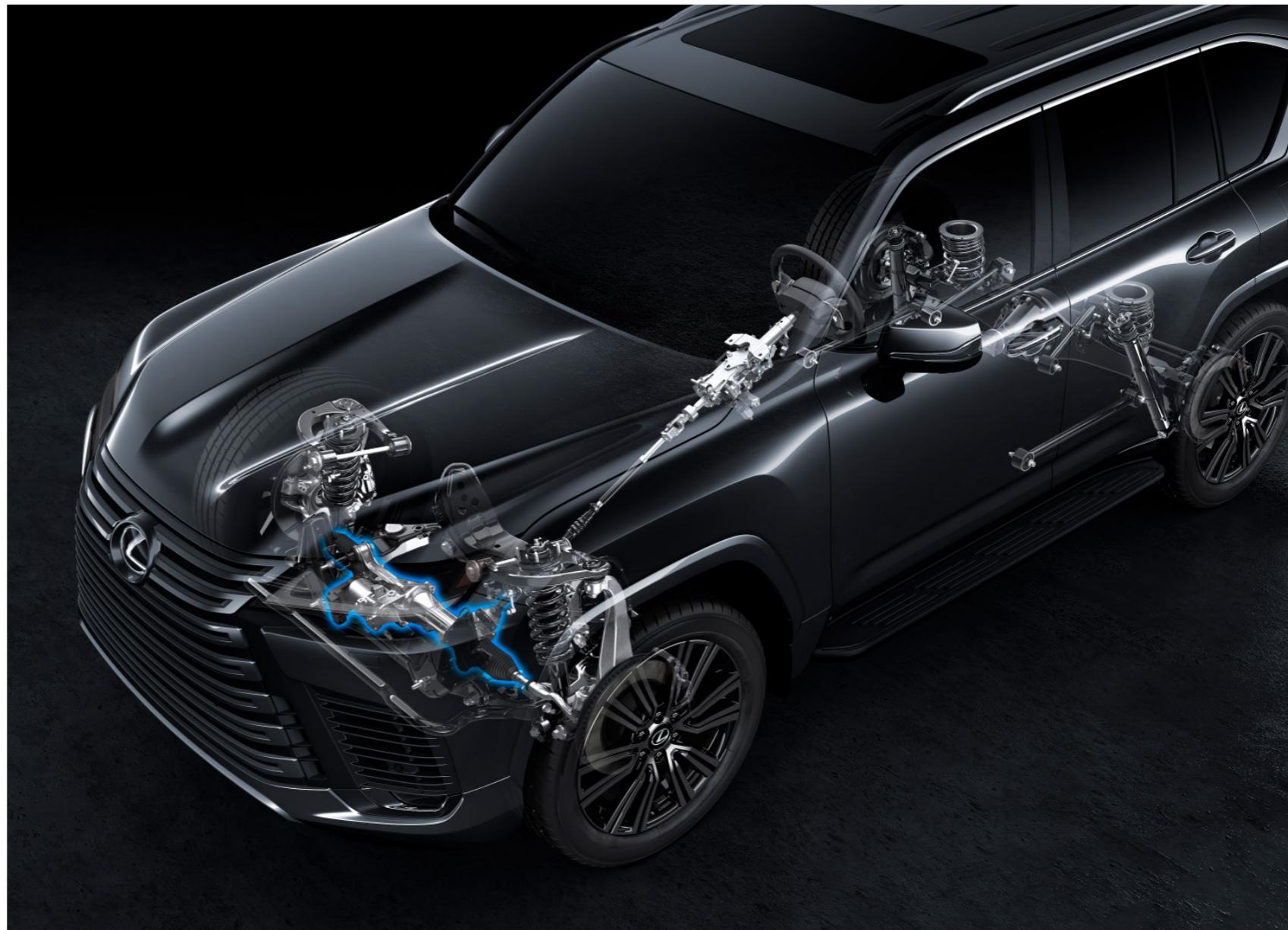
電動パワーステアリング[EPS]

ステアリングの切り始めからリニアにクルマが応答し、オフロード走行時などの低速では、軽い操舵感によりドライバーの負担軽減に寄与、高速では車速に応じた適度な操舵力により、レクサスらしいドライバーの意図に沿った走り、手応えのある操舵感を実現します。

電子制御ブレーキ[ECB]

ブレーキペダルの操作量をセンサーで検出し、最適な制動力を生み出すことで、よりリニアな制動特性が得られます。オフロードでマルチテレインセレクトを選択した場合は、スリップや空転しているタイヤに対する細やかなブレーキ制御により、高い走行安定性を確保してドライバーに安心感を提供します。

フロントベンチレーテッドディスクは放熱性にすぐれたスロットテッドフィンタイプとし、耐フェード性と安定したブレーキの利きを確保します。



オンロードを爽快に走るための新開発タイヤ、空力機能、徹底した静粛性

タイヤ

18インチ、20インチ、22インチすべてのタイヤのばね下重量を軽減し、転がり抵抗値の最適化により、低燃費に寄与します。また、操縦安定性、乗り心地、静粛性を実現する最適なトレッドパターンや構造を追求したほか、ドライ・ウェット路面でのすぐれた操縦安定性と制動性能を確保しています。

空力機能

ルーフパネルとサイドアウターパネルを絞り込んだ造形にすることで、フロントから後方へスムーズな空気の流れを実現しました。



〈エアロスタビライジングフィン〉

小さなフィンが作り出す空気の渦がボディ側面の空気の剥離を抑え、空気抵抗の低減とすぐれた車両安定性の確保を両立します。



ドアフレームカバー

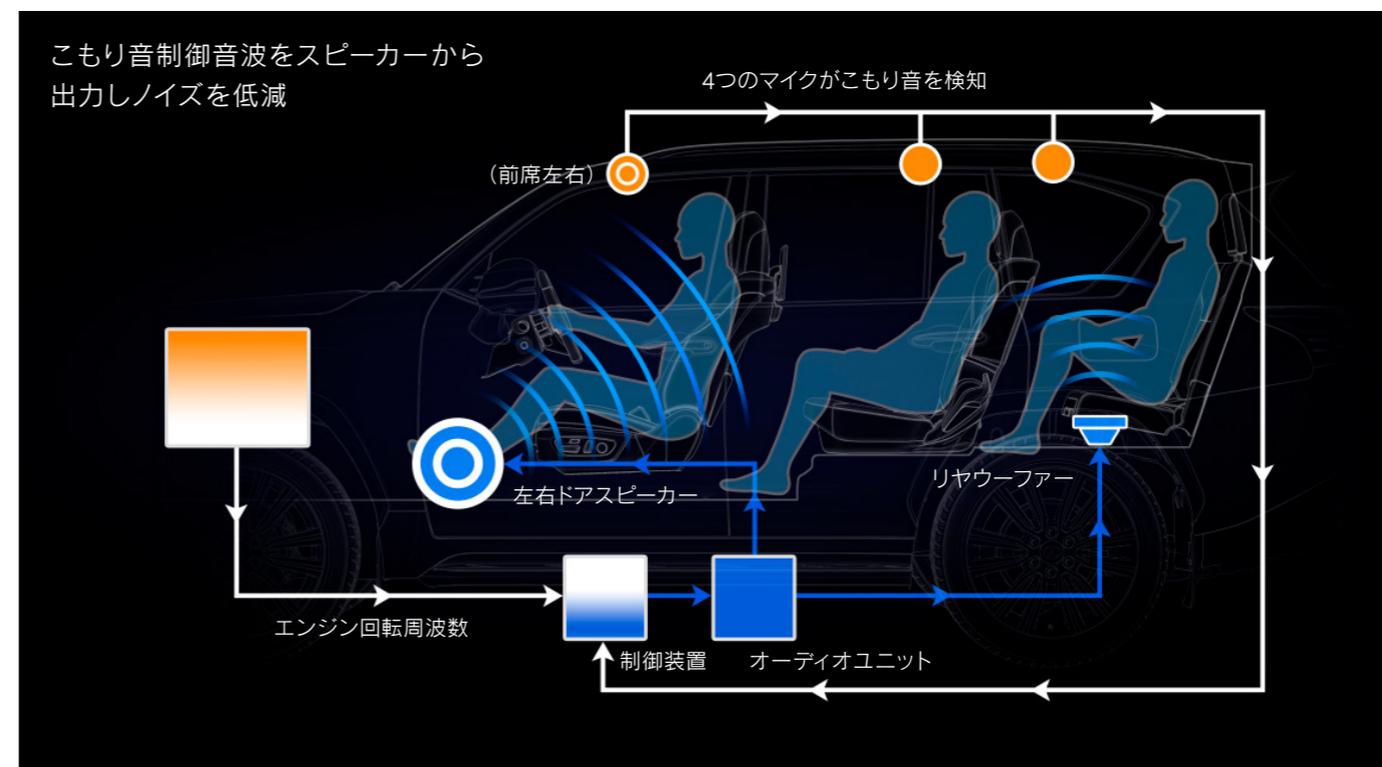


リヤコンビネーションランプ

静粛性とエンジンサウンド

〈アクティブノイズコントロール〉

ツインターボエンジンの高トルク領域拡大により燃費向上を図る一方、それに伴い発生するエンジンこもり音やプロペラシャフトこもり音を低減。室内のオーディオ用スピーカーからこもり音制御音波を出力し、室内の静粛性を確保します。



〈エンジンサウンドエンハンスメント〉

アクセル開度やトルクに応じて、エンジンサウンドの盛り上がり感を演出。室内のオーディオ用スピーカーから、車両の加減速感をより臨場感あふれるサウンドで演出します。

伝統と先進技術を融合し、過酷な環境でも安心して運転できる悪路走破性

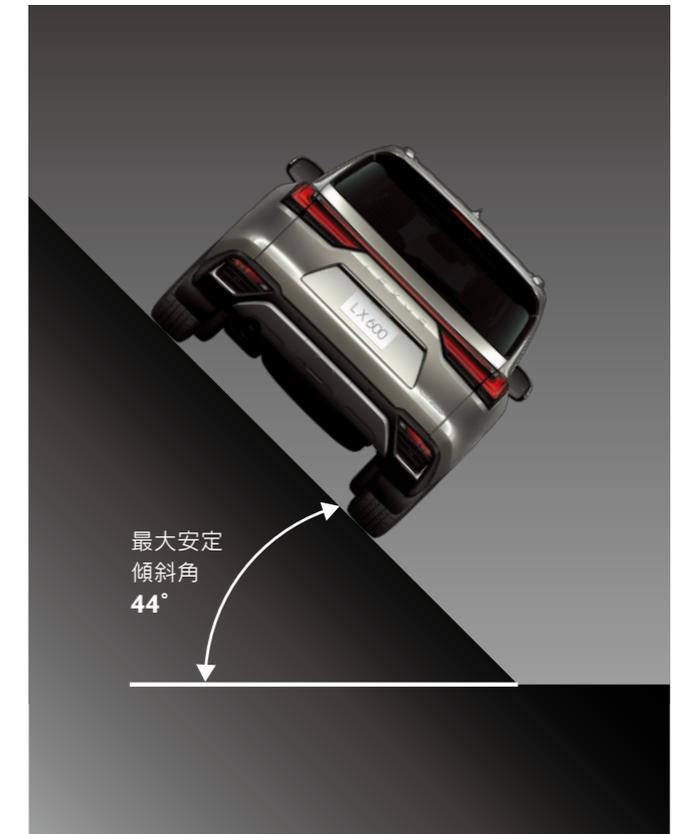
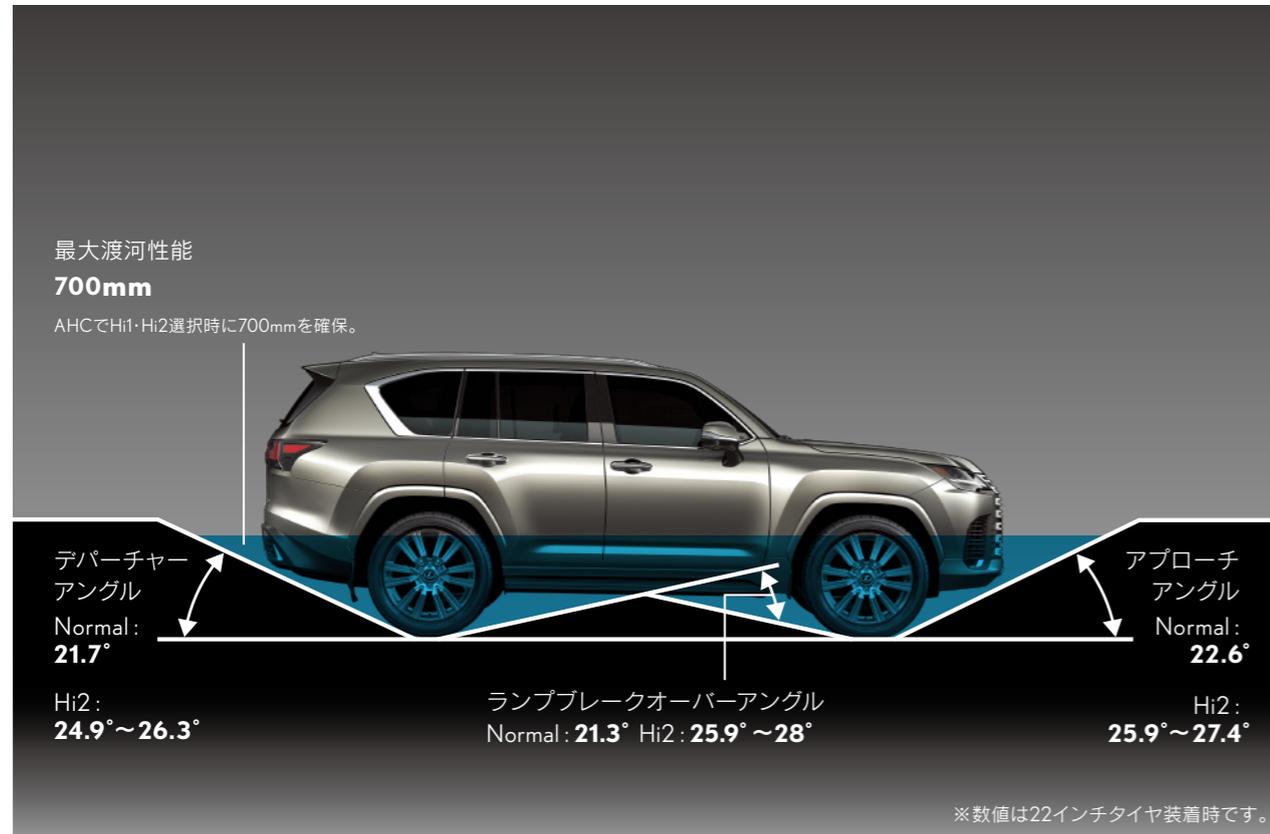
オフロード走行を安全・安心に、そしてレクサスらしい上質さや快適さを体感できることをめざしました。伝統のボディオンフレーム構造に加えて、リヤサスペンションやAVS、AHCのチューニングをきめ細かく行い、悪路での接地感を高めつつ、上質な乗り心地を実現しています。また、マルチトレインセレクト、クロールコントロールなどを進化させたほか、マルチトレインモニターやデュアルディスプレイなど、オフロードでの運転を支える先進技術を搭載しました。オフロードという環境の中でも、LXとの時間を楽しめるようドライバーを支援します。



LXのヘリテージ、黄金比のホイールベースと対地障害角を継承

歴代のLXが引き継いできた、高い悪路走破性とゆとりある室内空間を両立するホイールベースの黄金比2,850mm、および対地障害角など本格オフロード車としてのすぐれたディメンジョンを継承しました。対地障害角は起伏の激しい地形や倒木を乗り越えるような悪路などで高い走破性を発揮、最大渡河性能700mmにより大雨で冠水した道路にも対応可能です。

対地障害角



路面状況に応じて走破性能を引き出すマルチトレインセレクト

マルチトレインセレクトは、オフロード走行において、路面状況に応じた走行支援を6つのモードから選択できるシステムです。従来、トランスファアのローレンジ(L4)のみだった作動範囲をハイレンジ(H4)にも拡張し、岩石路の極低速走行から未舗装路の高速走行までオフロード走行支援を行う機能に進化。ブレーキ・駆動力・サスペンションを統合制御することで路面状況に応じた走破性能を引き出します。

初採用のAUTOモードでは、各種センサーの情報から走行中の路面状況をクルマが推定、最適なモードを自動で選択。ドライバー自らモード切り替えすることなく、走行シーンに応じた走破性能を引き出すことができます。



モード	メーター表示	使用路面イメージ	トランスファー	
			L4	H4
AUTO		オフロード走破性が必要な各種路面	●	●
DIRT		未舗装路の走行時	—	●
SAND		砂地路の走行時	●	●
MUD		泥濘路の走行時	●	●
DEEP SNOW		深雪路の走行時	—	●
ROCK		岩石路の走行時	●	—

●: 選択可能 —: 選択不可

※画像は一部実際の仕様と異なります。

極低速走行が可能なクロールコントロールと、急坂を安定して下れるダウンヒルアシストコントロール

クロールコントロール

凹凸の激しいオフロードや滑りやすい路面を走行する際、アクセルやブレーキ操作をすることなく、ステアリング操作のみで極低速走行が可能です。ホイールスピンや車輪のロックを抑制するためスタックからの脱出能力が高く、駆動系への負荷も軽減。状況に応じて5段階の速度設定が可能です。クロールコントロール作動中にドライバーがアクセル操作した場合、加速操作を妨げないシームレスな駆動力・ブレーキ制御を実現。ドライバーが加速したい時にもアクセル操作ができ、ストレスの少ないオフロード走行をアシストします。また切り返しが必要なタイトコーナーに差し掛かった際、後輪内側の制動力を制御することで回頭性を高めるターンアシスト機能付きです。

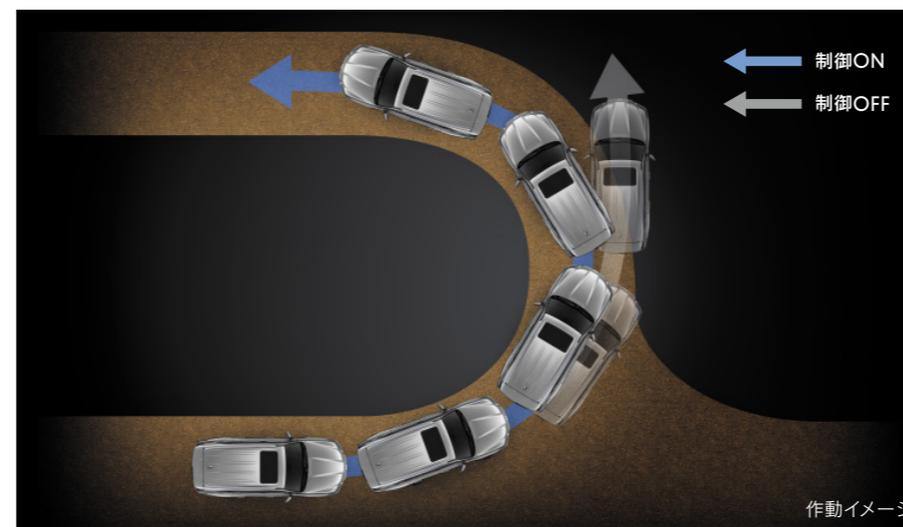


クロールコントロール推奨スピードモード

スピードモード	路面
Lo	岩石路、モーグル路(降坂)、瓦礫路(降坂)
MIDL	モーグル路(登坂)
Mid	
MIDH	雪路、泥濘路、瓦礫路(登坂)、砂地、砂利・ダート路、モーグル路(登坂)、草地
Hi	

※推奨スピードは参考です。路面状況(勾配、路面滑りやすさ、起伏)により最適でない場合があります。路面状況をよく確認して走行してください。

ターンアシスト機能



※トランスファー・ローレンジ(L4)、クロールコントロール作動時のみ作動します。
 ※ターンアシスト機能は一般走行には使用しないでください。
 ※車両の限界性能を高める装置ではありません。路面状況をよく確認した上で安全に注意して走行してください。

ダウンヒルアシストコントロール

エンジンブレーキだけでは十分減速できないような険しい急坂路を降坂する際、スイッチ操作により、4輪のブレーキを自動的に制御し、タイヤロックすることなく安定した降坂を支援します。スイッチで選択した車速を保ち、ブレーキやアクセルの操作に気を使うことなく、ステアリング操作に集中できます。

※降坂時にトランスファー・ハイレンジ(H4)を選択し、車速4km/h~30km/h以下で作動します。



DAC: ダウンヒルアシストコントロールスイッチ
 CRAWL: クロールコントロールスイッチ

先進的なデザインとオフロード走行時の機能性を両立したデュアルディスプレイ

インストルメントパネルに上下2画面のデュアルディスプレイを採用しました。上部の12.3インチタッチディスプレイはナビゲーションやオーディオ画面を表示し、オフロード走行時にはマルチテレンモニターになります。下部の7インチタッチディスプレイはマルチテレンセレクトやドライブモードセレクト、空調コントロールなどを表示します。

例えばオンロード走行でナビゲーションとドライブモードセレクト画面を表示したり、オフロード走行でマルチテレンモニターとマルチテレンセレクト画面を表示するなど、走行状況に応じて必要な情報を同時に表示することができます。

オフロード走行時の表示例

上部でカメラ画像を表示しながら、下部で車両状態を同時に表示することで、画面表示を切り替えることなく、オフロード走行時の状況把握が可能です。



マルチテレンモニターのバックアンダーフロアビュー(拡大)画面

マルチテレンセレクト画面



ナビゲーション画面

ドライブモードセレクト画面

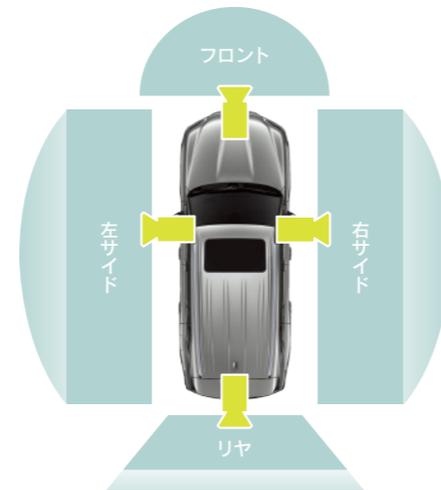
オフロード走行に安心感をもたらすマルチテレインモニター

車両周辺の状況確認を4つのカメラでサポートするシステム。フロント・サイド左右・リヤに搭載したカメラでとらえた映像をカメラスイッチで切り替え、12.3インチタッチディスプレイに車両周辺映像を鮮明に、滑らかな動きで映し出し、ドライバーの死角になりやすい車両周辺の路面状況を確認できます。

オフロード走行時には、車高に適したカメラ映像の合成を行うことで、周辺状況をより分かりやすくドライバーへ伝え、安心感をもたらします。



アンダーフロアビュー&両サイドビュー



ワイドバックビュー&両サイドビュー

■アンダーフロアビュー/バックアンダーフロアビュー

アンダーフロアビューは直前に撮影された映像を車両下部に床下透過映像として表示、現在映像と合成することで車両下の状態や前輪・後輪の位置が確認できます。

バックアンダーフロアビューは車両後方の障害物との位置関係の把握や、後輪と路面の確認を支援することで、林間路、モーグル路、岩石路などでの走破性に寄与します。さらに、車両を透過し、後輪周辺をクローズアップして大きく表示するバックアンダーフロアビュー(拡大)により、タイヤ付近の状況や障害物との距離感を把握でき、スタックや行き止まりからの脱出に力を発揮します。



アンダーフロアビュー(後輪)&両サイドビュー



バックアンダーフロアビュー&両サイドビュー



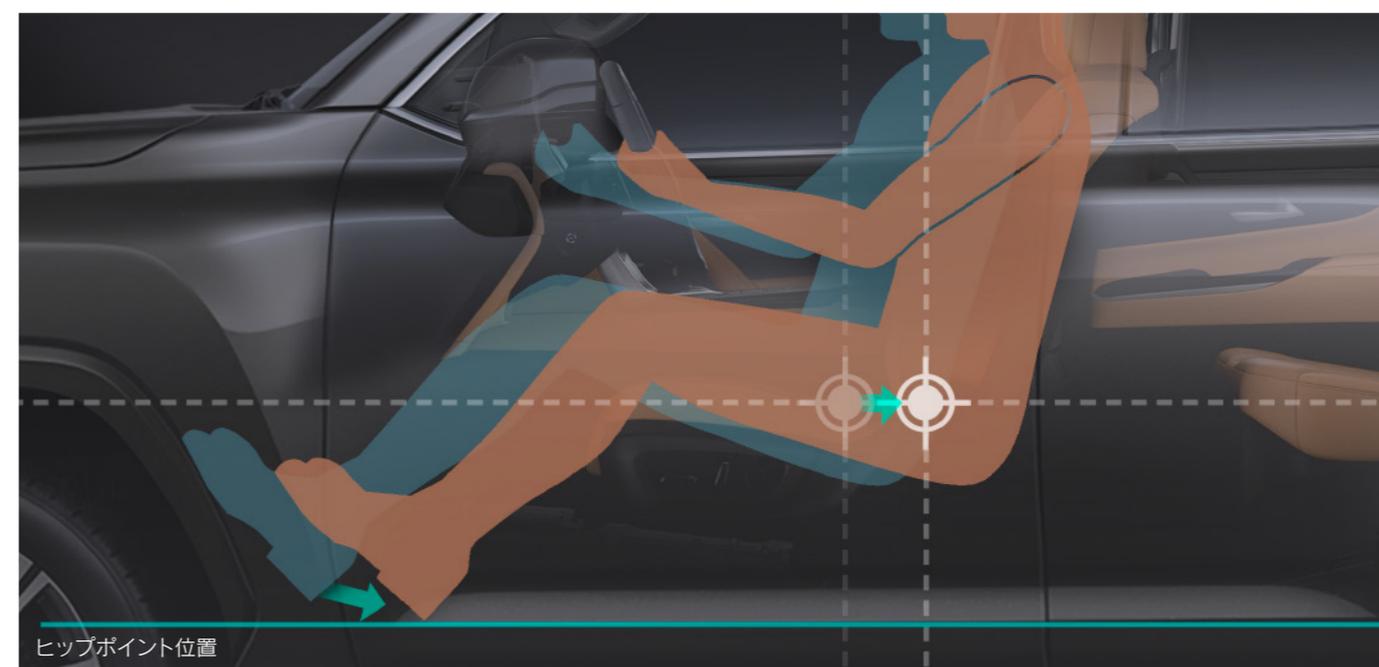
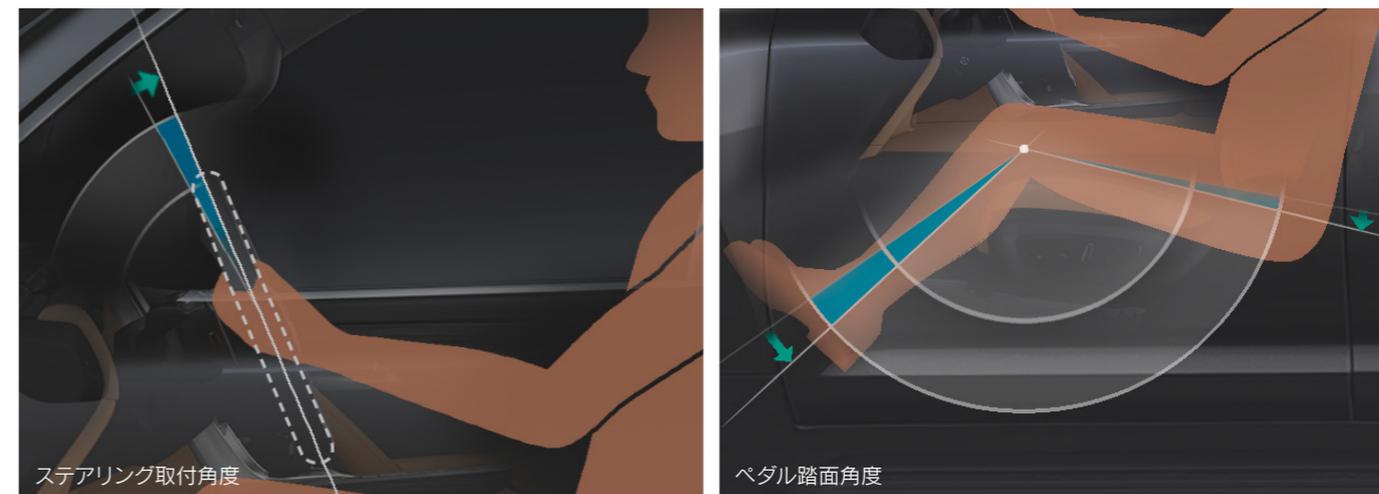
バックアンダーフロアビュー(拡大)

悪路走行時でも安定した運転姿勢を支えるステアリングやペダルのレイアウト

着座して自然にステアリングとペダルに手足が添えられるドライビングポジションをめざし、ステアリング取付角度やペダル踏面角度、フットレスト位置および取り付け角度、ヒップポイント高、シート形状やホールド性などを作り込みました。

またワークブーツ着用時でも隣のペダルに干渉しないよう、アクセルペダルとブレーキペダルの間隔を確保し、正確なペダル操作をサポート。アクセルペダルはショートストローク、かつ高剛性アームの採用により、レスポンスと操作性を両立させています。

ステアリングやペダルの操作がしやすい自然な運転姿勢の作り込み



エクステリア・インテリア共通のデザインキーワード

Dignified Sophistication

威厳ある力強さと、
洗練された品位ある深みを融合したデザイン。



本格オフローダーの力強さと、都会に映えるスタイリッシュさの融合

エクステリアデザインの原点としたのは、LXの歴代モデルから培った走破性にすぐれるホイールベース2,850mmと対地障害角。この伝統を継承した上で新たにプラットフォームを開発し、本格オフローダーとしての存在感と、上質で洗練されたプロポーションをめざしました。

フロントピラーを車両後方へ引くキャブバックワードデザインとし、骨太なボディにレクサス最大となる22インチタイヤ*を採用。ダイナミックかつスマートな表現としています。



*LX600“EXECUTIVE”に265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール(プレミアムメタリック塗装)が標準装備、LX600に265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)がメーカーオプション。

力強いフォルムと、 洗練された面質の融合

力強いフォルム

スピンドルグリルからフロントフェンダーへかけて立体感を強調し、ダイナミックなフォルムを表現。さらに、スピンドルグリルとボディ全体を立体的に一体化させるとともに、エンジンフード前端をアルミニウムのプレス限界まで深く絞り、強いフロントエンドを演出。LXの力強い走りを訴求します。

洗練された面質

複雑な形状の部品を精緻に組み合わせたフロントなど、工芸品的な作り込みにより、洗練された上質な面質を表現しています。



風格と機能を両立させたフロントフェイス

グリルとエンジンフード

LXにふさわしい新しいスピンドルグリルの表現として、7組のフローティングバーで立体形状をつくり、フレームの無いシームレスな構成としました。一つひとつのバーの厚みをミリ単位で細かく調整することにより、デザイン性とツインターボエンジン搭載に伴う高い冷却性能を両立。サイドラジエーターグリルも冷却性能を確保するため開口部を大きくとり、整流効果の高い形状としました。また、エンジンフード中央の凹形状は、前方の視認性、および車両の傾斜感覚の得られやすさを表現。機能に根差したLXらしいデザインを実現しました。



三眼フルLEDヘッドランプ(ロー・ハイビーム)

薄型・小型の三眼LEDヘッドランプとL字型のクリアランスランプを組み合わせ、力強さとアグレッシブさを表現。クリアランスランプは立体形状へと進化させ、さらにインナーレンズを二重化し、それぞれに異なる段差を設けることで、奥行き感と見る角度による変化を与えています。



塊感を主張しつつ、洗練されたリヤビュー

フロントから始まる骨太で水平軸のトルソーをリヤまで貫き、ルーフからバックウィンドウへ絞り込んだクォーターピラーと、ロッカー下端からリヤタイヤ後方へ駆け上がるアンダーの流れによって、一体感のある強い塊感を表現しました。リヤの中央に配置したブランドマークは、新たなLEXUSロゴに刷新し、次世代レクサスを象徴しています。



フルLEDリヤコンビネーションランプ(テール・ストップ・ターンシグナル)

フロントからショルダー、そしてリヤのシルエットに連続する軸の流れにL字形状と一文字を組み合わせました。抑揚のきいたシャープなデザインを強調し、レクサスとしての一貫性を表現しています。またリヤフォグランプを全車に標準装備しています。



3Dシミュレーションは [こちら](#)

存在感を主張するレクサス最大サイズ、22インチ鍛造アルミホイールを設定



265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール
(プレミアムメタリック塗装)*

ハイクラスな高輝塗装で深い立体感を表現。
“EXECUTIVE”にふさわしい存在感のある足元を
演出します。

“EXECUTIVE”



265/55R20タイヤ&アルミホイール
(切削光輝+ダークメタリック塗装)

タイトなV字の切削ツインスポークとダークメタリック
塗装で、シャープさと重厚さの複層的な魅力を表現
しています。

LX600



265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール
(切削光輝+ブラック塗装)*

ブラックと切削光輝のハイコントラストで22インチ
サイズを強調。鍛造により軽量化に寄与しています。

LX600



265/65R18タイヤ&
“OFFROAD”専用アルミホイール
(マットグレー塗装)

未広がり立体感のある6本スポークで存在感を
主張します。

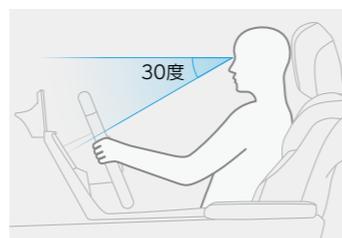
“OFFROAD”

*タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

クルマとのより深い対話を生み出すコックピット

クルマとドライバーがより直感的につながり、より運転操作に集中できる新たなコックピット思想「Tazuna Concept」を取り入れました。スムーズな視線移動と手元操作を実現し、オンロードからオフロードまで、ドライバーとクルマのより深い対話を生み出します。

- 視線移動の少なさの指標である「ディスプレイ中心を視線の下方30度以内」に配置し、運転中におけるディスプレイの見やすさに配慮。



- 前方の道路からヘッドアップディスプレイ、メーターへとつなげ、12.3インチタッチディスプレイをナビ画面とすることで実現したスムーズな視線移動。
- マルチテレインセレクトなど、走行系スイッチをセンタークラスターの手の届きやすい位置に配置。急勾配の上り坂でシートバックに体が押しつけられた状態でも手が届くように配慮。
- ヒーターコントロールなどのスイッチは、人間工学の観点から機能的に整理し、7インチタッチディスプレイの下にスイッチを配置。
- 悪路走行時に平衡感覚を把握できるように、ドライバーに近い12.3インチタッチディスプレイ上端を水平に配置。



一目で認識しやすい、8インチTFT液晶式メーターとアナログメーター

メーター中央にマルチインフォメーションディスプレイを採用し、走行モードに応じて必要な情報や走行状況などを表示します。さらに、オフロードの過酷な状況下でも車両の状態が一目で確認できるように、LX伝統のエンジン油圧計・バッテリー電圧計などのアナログ4針メーターを組み合わせました。8インチTFT液晶式メーターはドライブモードセレクトなどに応じて表示が変化します。



スピード・タコメーター(アナログ表示)

■メーター表示例



スピードメーター
(アナログ+デジタル表示)

スピードメーター(デジタル表示)
タコメーター(アナログ表示)

■ドライブモードセレクト表示例



ECOモード
(メーターリング:ブルー)

COMFORTモード
(メーターリング:シルバー)

SPORT S / SPORT S+モード
(メーターリング:レッド)

スイッチの操作しやすさを追求したセンタークラスター

ヒーターコントロール系スイッチと走行系スイッチを上下にゾーニングし、スイッチの配置を分かりやすく整理しました。さらにスイッチの形状をトグル式、プッシュ式、ダイヤル式に分けることで直感的な操作が可能。オフロード走行時においても、ドライバーの誤操作を低減し、意に沿った走行モードの選択や温度調節をサポートします。

ヒーターコントロール系スイッチ

温度調整スイッチは直感的に操作しやすいトグル式とし、その他のスイッチは手になじむ凹断面のプッシュ式を採用。ハザードスイッチは左右にフレームを設けることで、オフロード走行時などで指の横滑りで起きる誤操作の防止に配慮しました。



走行系スイッチ

駆動系のプッシュスイッチはオフロードでの指の横滑りや誤操作の防止に配慮した深堀の断面とし、グローブ使用時にも容易に操作できる大型サイズとしました。モードセレクトダイヤルは節度感のある操作性により、オフロード走行時でも操作感覚をつかみやすくしています。



「広がり感」と、包まれる「安心感」を両立した前席空間

運転に集中できる快適な空間をめざし、「程よい包まれ感のあるドライビング空間」をデザインしました。インストルメントパネルを薄く見せる二段構成とし、上段はエアコンの吹き出し口を左右にオーバーハングさせることで、より強い水平基調と広がり感を演出。下段はインストルメントパネルロアから左右ドアアシストグリップまでつながりのある造形とすることで、乗員を包み込むような安心感を提供します。



悪路での姿勢保持や衝撃緩和に配慮した助手席空間

フロントドアグリップの太さや角度にこだわり、オフロード走行時の姿勢保持のしやすさと乗員を包み込む造形美を両立しました。また、フロントドアトリムの肩口や腰部に柔らかなソフトパッドを配し、プロテクト性を強調、同乗者にも安心とくつろぎを提供します。



おだけ充電やUSB Type-C端子などを備えたセンターコンソール

スマートフォンなどをワイヤレス充電できる「おだけ充電」はコンソール中央に配置し、USB端子はType-C(充電用)とType-A(通信・充電用)の2ポートを設定。また、シートヒータースイッチとステアリングヒータースイッチは視認しやすいコンソール前方に設定しています。



* LX600 "EXECUTIVE" では、おだけ充電はリヤコンソールに設置され、フロントコンソールはトレイとなります。

過酷な環境下での快適性を追求したフロントシート

上部は広く背中を包み込むような肩口形状と、運転時の腕さばきに配慮したランバー形状を融合させ、機能的でありながら柔らかな線使いにより、立体感のあるシートを開発しました。



すぐれたホールド性と快適な乗り心地

クッションパッドに座面の安定性と圧力の分散性の高い素材を採用。硬度分布の最適化により腰の横揺れ抑え、上体の傾きを低減することで、低G領域でのホールド性を確保します。

シートベンチレーション

エアコンからの風をシート内に吸い込む吸引構造により、冷風が乗員の体の脇を通り抜け、冷涼感を得られるようにしました。またエアコンと連動制御し、出力がMaxとなるエクストラハイ・モードを設定しています。

シートヒーター

人間工学の見地からヒーターの配置と温度分布を設定し、長時間の乗車で負担のかかりやすい肩や腰、寒い日に冷えやすい大腿部を効果的に温めます。3段階の温度調整機能により、冬季だけでなく、夏季の冷房使用時にも利用できます。

快適な座り心地のセカンドシートとサードシート

セカンドシート(4:2:4分割可倒式/電動アシストタンブル機構付)

最適なサイドサポート高さでクッション性によりホールド性を確保したセカンドシート。可倒式リヤセンターアームレストは腕を置いた際に快く、カップホルダーも使いやすい高さとししました。また、薄型のセンターピラーガーニッシュや、コーナーに丸みを設けたシートクッションにより足の出し入れをスムーズにし、サイドステップも悪路走破性との両立を図った取り付け位置やサイズとし、すぐれた乗降性を実現しました。

LX600

"OFFROAD"



可倒式リヤセンターアームレスト
(カップホルダー2個付)

サードシート(5:5分割可倒式/電動リクライニング機構付)

約10度の電動リクライニングにより、ラゲージスペースを拡大できます。また、格納時にラゲージルームのフロアがフラットになるダブルフラットシートを採用。スイッチの長押しにより自動で格納されます。充電用USB Type-C端子、カップホルダーもクォータートリムに設定しています。

LX600(7人乗り)

"OFFROAD"(7人乗り)



電動リクライニングスイッチ

USB端子(充電用Type-C)



上質で、使いやすさに配慮した後席空間

ドアトリム & リヤウインドウ

前後に抜けた伸びやかなアームレストと、ショルダー部にソフトパッドを配し、上質感と安心感を表現しました。また、リヤウインドウにサンシェード(マニュアル)を設定し、サンシェードとトリムの間に黒セラミックを施すことで遮光性を高め、後席に安らぎの空間をもたらします。



フロントセンターコンソール後部

エアコンレジスターとヒーターコントロールパネルにサテン調メッキを施し、上質さを表現しました。左右両開きのコンソールボックスはオープンスイッチを運転席側・助手席側と後席側に設置し、後席からも開閉しやすくしています。



*HDMI端子を選択した場合、リヤシートエンターテインメントシステム、上下前後調整式フロントヘッドレストが同時装着となり、別体型ディスクプレイヤーを選択することができます。

■ = 標準装備

□ = メーカーオプション

乗り降りやラゲージスペースの拡大に便利なマルチシートオートアレンジ

マルチシートオートアレンジ (ウォークイン機構)

7人乗り仕様ではセカンドシート肩口のタンブルスイッチを押すと、フロントシートが作動し、タンブルできるスペースを確保した後、電動でセカンドシートを折りたたみつつ跳ね上げ、サードシートへ楽に乗り降りできます。

LX600(7人乗り)

"OFFROAD"(7人乗り)

※5人乗り仕様では、タンブル状態にすることによりラゲージスペースを拡大することができます。



マルチシートオートアレンジ (ラゲージスペース拡大機構)

ラゲージルーム内の左側に設置したスイッチを長押しすることで、セカンド・サードシートの一連の格納動作が自動で行え、ラゲージスペースを楽に拡大できます。

LX600

"OFFROAD"

5人乗り

7人乗り



スイッチを押している間、シートが作動



※画像はLX600(7人乗り)。セカンドシート前倒し+サードシート両側フロア格納状態。

使用シーンに合わせてフレキシブルに対応できるシートアレンジとラゲージルーム

シートアレンジ

5人乗り(LX600/“OFFROAD”)



標準状態



セカンドシートタンブル状態

7人乗り(LX600/“OFFROAD”)



標準状態



セカンドシート前倒し+サードシート両側フロア格納状態

※サードシートはダブルフラットシートです。トリムのスイッチ操作でフラットな状態に格納されます。
※セカンドシートはタンブル状態にもできます。

ラゲージルーム

5人乗り(LX600/“OFFROAD”)



標準状態

容量1,109ℓ*¹ ゴルフバッグ5個収納可能*²
※トノカバー付き。

7人乗り(LX600/“OFFROAD”)



標準状態

容量174ℓ*¹ ゴルフバッグ1個収納可能*²



セカンドシート前倒し+ サードシート両側フロア格納状態

容量1,977ℓ*¹ ゴルフバッグ5個収納可能*²

4人乗り(“EXECUTIVE”)



標準状態

容量767ℓ*¹ ゴルフバッグ4個収納可能*²
※トノカバー(“EXECUTIVE”専用セパレーター付)付き。

*1. ラゲージルームの容量はVDA方式で測定。荷室高を天井までとした場合の数値です。

*2. 9.5インチ口径のゴルフバッグに47インチドライバーを入れて搭載。クラブの長さやゴルフバッグの形状・大きさにより収納できない場合があります。

※シートアレンジ別のラゲージルーム容量につきましては、75ページをご覧ください。

上品さとおもてなしの心を込めた光の演出

インテリアイルミパッケージ

室内の造形や素材を美しく魅せる間接照明です。コックピット全体のイルミネーションで室内空間を彩ります。照明の色は、美しい自然現象などから着想した14色のテーマカラーに加えて、お好みに合わせて選べる50色のカスタムカラーを設定。気分に合わせて自由に変更できます。

※14色のテーマカラーにつきましては、38ページをご覧ください。

照明部位

- ・ドアトリム
- ・インサイドドアハンドル
- ・運転席/助手席足元
- ・小物入れ
- ・カップホルダー
- ・コンソールボックス内
- ・リヤコンソールテーブル("EXECUTIVE"のみ)
- ・セカンドシート足元

※運転席/助手席足元とセカンドシート足元の照明は、ドアオープン時ではホワイト、シフトをDレンジに入れると設定したカラーに変わります(ドア連動スイッチON時)。

※フロントコンソールボックス内の照明は、カラーではなく、通常の照明となります。



※画像のテーマカラーはWaterfall。

インテリアイルミパッケージのおすすめ14色(テーマカラー)

癒し

リラックス

覚醒

集中

高揚感



細部まで心を尽くした上質表現

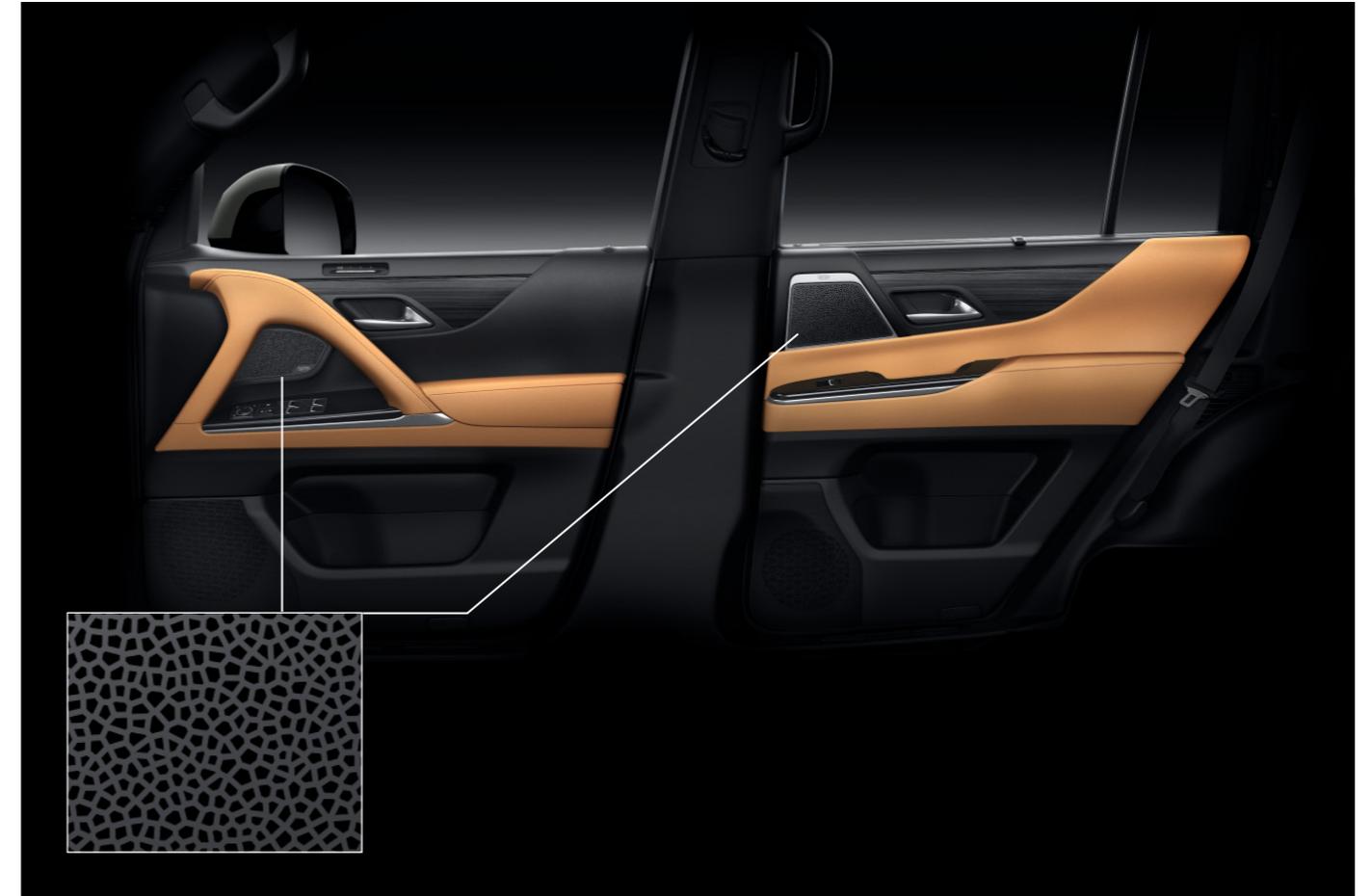
素材表現

センタークラスターおよびインストルメントパネルレジスターの骨太な金属と表皮巻きパッドを組み合わせました。さらに、人の目や手に触れやすいグリップにはアウトステッチを施し、本物が醸し出す上質感を表現しています。表皮巻きはクラフトマンシップを注ぎ込み、細心の手作業によって作り込んでいます。



スピーカーグリルデザイン

“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム*のスピーカーグリルには、葉脈柄をイメージしたパターンを採用し、自然の温もりを表現しました。



* “マークレビンソン”リファレンス3DサラウンドサウンドシステムはLX600“EXECUTIVE”に標準装備、LX600 / LX600“OFFROAD”にメーカーオプション。

「オフロード走行でも安らげる、休息の場」を追求した“EXECUTIVE”

ゆとりの2人乗り後部座席と、細部にまでこだわり尽した室内表現で仕立てた“EXECUTIVE”。

オンロードはもちろん、オフロードでも快適に過ごせる機能を備え、都市をまたぐような長距離や荒れた路面を移動する際も、リラックスできる空間をめざしました。



荒れた路面の長距離移動も疲れず安らげるリヤシート

“EXECUTIVE”専用リヤパワーシート

凹形状のクッション・シートバック・大型ヘッドレストにより、カーブで横荷重を受けた時でもホールド性を確保します。さらに、クッションの臀部には振動吸収性の良いソフトウレタンを使用し、オフロード走行時にも不快な振動を効果的に抑えます。また“EXECUTIVE”ならではのキルティングを施し、上質さを表現しています。

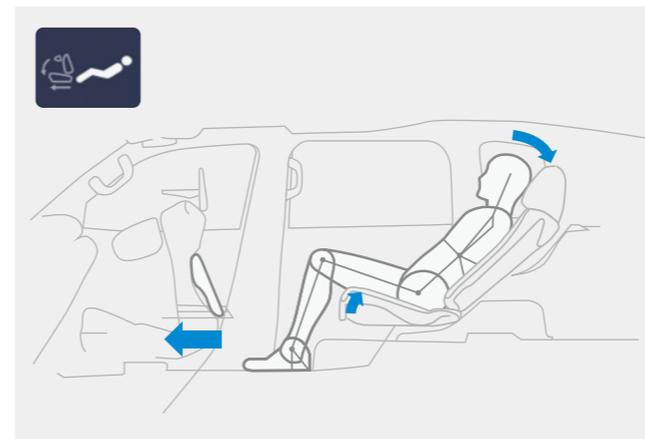


リラクゼーション機能(後左右席) “EXECUTIVE”

シートバックおよびシートクッション内のエアブラダー(空気袋)を膨張させることで、乗員の背中から大腿部までを押圧し、心身のリフレッシュに寄与します。全身(リフレッシュ・ストレッチ・シンプル)と部位別(上半身・下半身・肩・腰)の7コースを設定、強さは5段階から選べます。

プリセットポジション(後左席) “EXECUTIVE”

ワンタッチで素早くシートポジションを調整するプリセットモードを設定しました。リラククスモードはリラックスした姿勢でお休みいただけるようレッグスペースを広げ、助手席と後左席を前後に倒します。シートリターンはオットマンを格納し、後席を乗降しやすい位置へ移動できます。



リラククスモード



シートリターン

※シートベルトを外したときのみ操作が可能です。

「NASA*が提唱する中立姿勢」を参考に最大48度リクライニングし、くつろぎの空間を創出

最大48度のリクライニング(後左席)

“EXECUTIVE”として重視したことが、オフロード走行中でも寝られるほどリラックスできることです。リラックスモードスイッチで助手席を前方に移動させると同時に、座面角度とリクライニング角を最適な41度にワンアクションでコントロール。さらにディスプレイを倒して前方視界を広げ、オットマンを展開し、最大レッグスペース1,000mmを確保することで開放感とくつろぎの空間を創出。足先から頭まで体への負担が少ない姿勢を提供します。

*NASA: National Aeronautics and Space Administration

※リラックスモードスイッチでのリクライニング角は最適なポジションとなる41度を設定、最大48度までリクライニング可能です。



電動オットマン(後左席) “EXECUTIVE”

オットマンを助手席後部に設定したことで、助手席のスライド操作のみでオットマンの位置を調整可能。つま先がシートバックにあたり、ふくらはぎがオットマンに乗るよう調整することで、オフロード走行でも足を快適に支えます。汚れを拭き取りやすい合成皮革を使用しています。

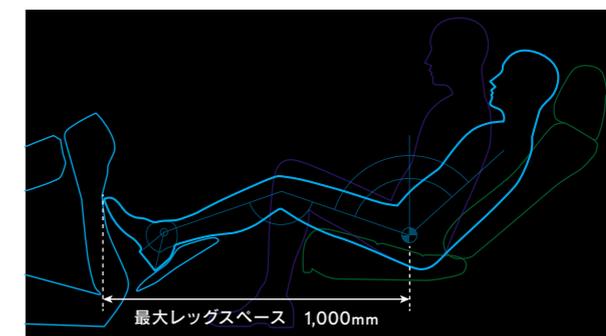


■オットマンを快適にお使いいただくための位置調整の目安



最大レッグスペース1,000mm

240mm助手席スライド、前方へさらに約114mmスライドできるエクstrasライドを併用することで、レッグスペースを最大1,000mm確保できます。



リラックスモードとオットマン展開による姿勢

ビジネスやプライベートに対応できる、個室を思わせる空間 [1]

サンシェード(リヤウインドウ/マニュアル) 全車

プライバシーに配慮しつつ、乗員が「NASAが提唱する中立姿勢」でくつろぐ時、窓から差し込む外光を遮ります。仕事に集中したい時は外界から情報を遮断するためにクローズし、風景を楽しみたい時は開けるなど、時々の気分に応じて空間の使い方をすることができます。



後席空間とラゲージルームを隔てるセパレーター “EXECUTIVE”

後席空間のプライベート性を確保するセパレーターを設定しました。ラゲージルームから室内が見えないだけでなく、直接外気(熱い空気や冷たい空気)が入ることを防ぎます。リヤシートのリクライニングに追従して作動するように、セパレーター下端をシートに固定。シートを起こした際に生まれるシート下の空間をラゲージスペースとして活用することができます。



ビジネスやプライベートに対応できる、個室を思わせる空間 [2]

読書灯(後左右席) EXECUTIVE

天井に設置した後席専用の読書灯。角度調整・3段階調光機能付きで、「NASAが提唱する中立姿勢」からも体を起こさず操作できます。



リヤシートエンターテインメントシステム

EXECUTIVE LX600* OFFROAD*

タッチパネル付11.6インチディスプレイを左右2台設置。リラックスした「NASAが提唱する中立姿勢」で高画質の映像を楽しめます。
※「EXECUTIVE」の助手席ヘッドレストとディスプレイは電動で前方に倒すことができます。



リヤコンソールの便利な機能 EXECUTIVE

- ①リクライニング時にもスマートフォンの通知に気づきやすい位置に配置した**おっだけ充電**
- ②腕置きだけでなく、タッチパネルの操作も快適に行える**パームレスト**
- ③**テーブル**と、その中に**カップホルダー(2個)**
- ④**小物入れ**と、その中に**充電用USB Type-C端子(2個)**、**HDMI端子**など
- ⑤**ヘッドホンジャック(2個)**、**充電用USB Type-C端子(2個)**、**DC12V**を備え、ブランケットも収納できる**コンソールボックス**



*リヤシートエンターテインメントシステムを選択した場合、上下前後調整式フロントヘッドレスト、HDMI端子(1個/フロントセンターコンソール後部)が同時装着となり、別体型ディスプレイヤーを選択することができます。



テーブルの表面にはペン跡などの傷が回復しやすい自己治癒塗料を使用。テーブル面を押し込んでも開かない構造のため、書類へのサインなどに使うことができます。

後席からの開放的な前方視界と、炎天下や極寒に影響されない心地良い空調

前方視界

後席の乗員が開放感を感じられるよう、リヤシートエンターテインメントシステムの後席用ディスプレイを前方へ水平に倒すことができます*。操作はフロントとリヤコントロールパネルの両方からワンタッチで操作できます。

*フロントシートのヘッドレストが前に倒れている場合に作動可能です。



視聴状態



水平状態

シャワー空調機能 & エアカーテン "EXECUTIVE"

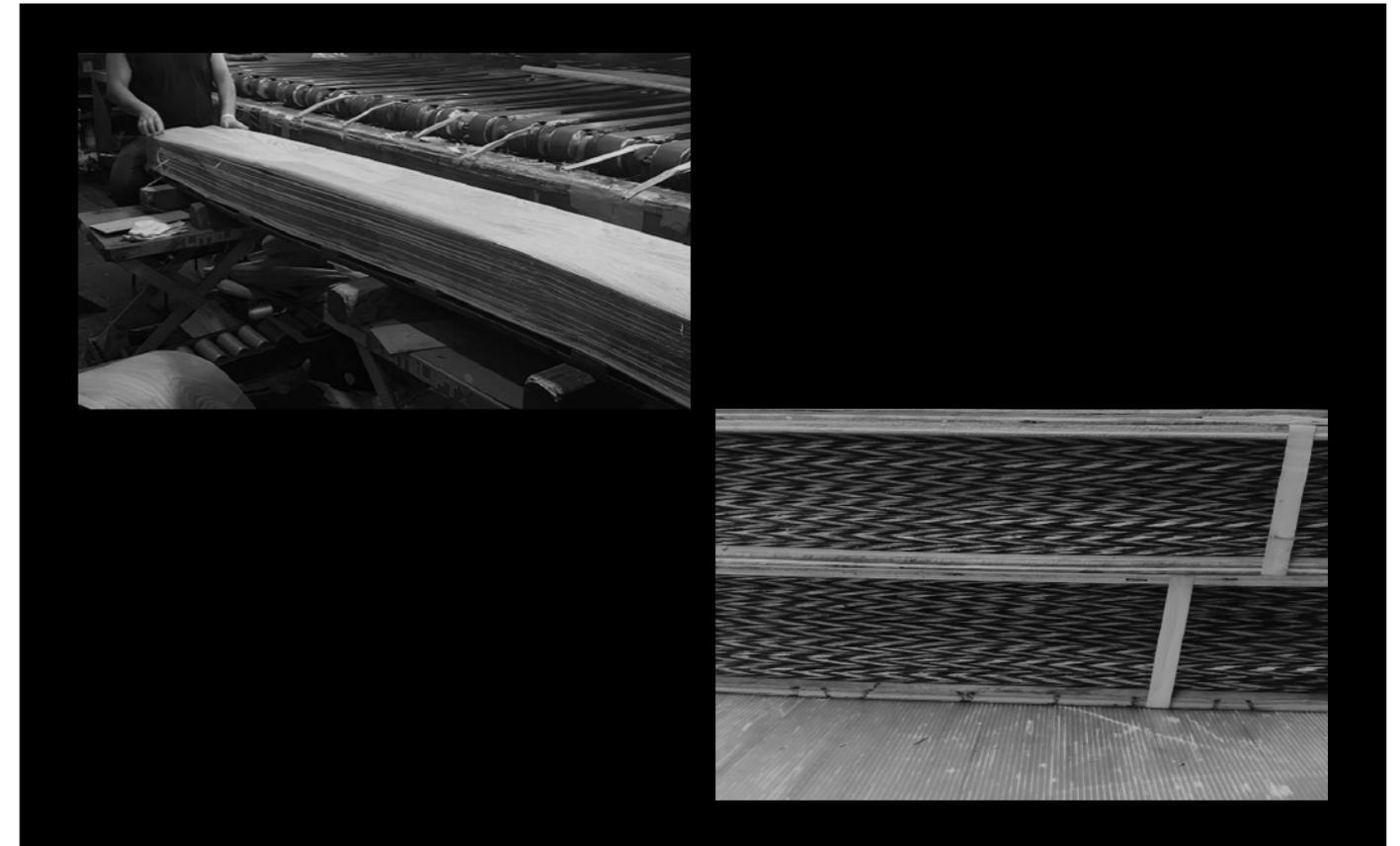
空調は炎天下や極寒の中でも心地良さを提供します。夏季はルーフサイドレジスターからの冷風で室内を冷やした後、好みに応じてレジスターの風量や向きを手動で調整し、シャワー空調機能をON。天井から風を降り注ぐように拡散することで、冷やし過ぎなどを抑えつつ、乗員の全身を包み込むような快適状態を保ちます。冬季はラゲージルームから広がる冷気を遮断する温風のエアカーテンを足元に送風することで、頭寒足熱の効果をより一層高めます。



寄木細工の繊細な美が映えるオーナメントパネル「鷹羽(たかのは)」

鷹の羽根の紋様をモチーフに、日本の匠による寄木細工の手法を用い、圧倒的な繊細さで表現した「鷹羽」。

空の王者である「鷹」の勇猛さと美しさを兼ね備え、LXにふさわしい、レクサス独自の柄を創出しました。 “EXECUTIVE”



三種類の空材を積層した種木を造り上げ、角度を変えて三度にわたり切削を行うことで、「鷹羽」の紋様を浮かび上がらせています。

独自のデザインをまとい、圧倒的走破性を実現する“OFFROAD”

過酷な環境にも耐える“プロフェッショナルツール”を表現したエクステリアデザインに、悪路走破性をより高める3つのディファレンシャルロック(フロント・センター・リヤ)と扁平率の高い18インチタイヤを装着。「Luxpedition(Luxury×Expedition)」という新たなライフスタイルを提案します。



“OFFROAD”専用エクステリア



スピンドルグリル
(黒光輝塗装)



18インチアルミホイール(マットグレー塗装)/
ホイールアーチモール(ブラック)



ドアミラー
(ブラック塗装&マットグレーメタリック加飾)



フロントフォグランプベゼル
(漆黑メッキ)

3つのディファレンシャルロックと18インチタイヤを搭載し、エクステリアとともに力強い走破性を主張

ディファレンシャルロック(フロント・センター・リヤ) / 18インチタイヤ

全車標準装備のセンターに加えて、“OFFROAD” 専用フロント・リヤのディファレンシャルロックを設定。

車輪がスタックした場合などに、必要に応じてディファレンシャルをロックすることで、空転している車輪に駆動力を伝えて脱出性を高めます。

ディファレンシャル内に小型のアクチュエーターを内蔵し、外部からの浸水や衝撃を受けにくくしました。

また、18インチタイヤは65%の高い扁平率により、悪路での路面追従性を高めています。



“OFFROAD” 専用エクステリア



ルーフレール
(マットマーキュリーグレーマイカ)



ウインドウモール(ブラックステンレス)



ドアハンドル(ブラック)



リヤバンパーサイドメッキモール
(漆黑メッキ)

セキュリティを確保する指紋認証スタートスイッチ

指紋認証スタートスイッチ

スタートスイッチの中央に指紋センサーを搭載した、指紋認証による始動システムです。電子キーを携帯し、ブレーキを踏みながら指紋センサーにタッチすると、車両に登録された指紋情報と照合。指紋情報が一致しなければエンジンが始動しないため、より高いセキュリティを発揮します。

※指紋の状態によっては指紋登録ができない場合があります。

※指の状態によっては登録した指紋を認証できない場合があります。
その場合は、電子キーを指紋認証スタートスイッチにかざすことでエンジン始動が可能となります。



スタートスイッチ(中心部: 指紋センサー)



クルマとつながる安心・快適を追求したG-Link

標準搭載のDCM(Data Communication Module)を介して、クルマがお客さまとつねにつながります。次世代マルチメディアに対応した新しいG-Linkサービスでは、クルマを使っている時はもちろん、乗車前や乗車後にもクルマとつながる安心、安全、快適なカーライフを提供します。

〈G-Linkサービス一覧〉

基本サービス* ¹	ヘルプネット [®]	
	eケア	
	G-Security	うっかり通知
		リモート確認
		リモート操作
		アラーム通知
		マイカー始動通知* ²
		車両の位置追跡
		警備員派遣
		カーファイnder
	マイカー始動ロック	
	マイセッティング	
	リモートエアコン	
	レクサスオーナーズデスク(含むレクサス緊急サポート24)	
コネクティッドナビ(車載ナビ有)* ³		
エージェント		
オプションサービス	車内Wi-Fi	

*1. 初度登録日から3年間無料。

*2. 「エンジン始動通知」から名称変更しました。

*3. G-Link無償期間終了後に契約しない場合は非通信型ナビゲーションとして引き続きご利用いただけます。

いつでもクルマとつながるスマートフォンアプリ

G-Linkの各種サービスを利用するためのスマートフォンアプリをご用意しています。

My LEXUS



アプリのご利用にはTOYOTA / LEXUSの共通IDが必要です。

My LEXUSアプリをご利用いただくには、TOYOTA / LEXUSの共通IDを取得いただき、レクサスオーナーズカードIDと連携を行っていただく必要があります。

クルマとつながる快適機能

乗車前



My LEXUS
アプリ

リモートエアコン

乗車前に、スマートフォンアプリ「My LEXUS」からエアコンを操作できます。夏の暑い時や冬の寒い時、アプリでエアコンを起動させ、あらかじめ車内を快適な室温にすることが可能です。また、外気温が5℃以下の寒い日は、リモートエアコンをつけると、自動でフロント・リヤガラスの曇り取り、ドアミラーのヒーターが作動します。霜取り作業の手間が省けて便利です。



※ディーラーオプションのリモートスタートを装着している場合は、ご利用いただけません。 ※通信環境や使用状況によっては、ご利用できない場合があります。 ※使用時には周囲の安全を十分にご確認の上ご使用ください。 ※一般公道や閉め切った場所での使用はおやめください。 ※車両停止中にエンジンをみだりに稼働させた場合、条例により、罰則を受けることがありますのでご注意ください(ご購入の際は地方自治体の条例などをご確認ください)。 ※起動後、一定の時間が経つと自動的に停止します。 ※前回降車時から、最大20分間作動できます(ドアの開閉により、再度20分間作動させることができます)。 ※エンジンが必ず始動します。

乗車中



My LEXUS
アプリ

マイセッティング

登録したスマートフォンや電子キーでドライバーを認識し、ドライバーごとのマルチメディア設定や車両設定を記憶しておくことができます。次回乗車時に同じ設定で利用できます。また、他の対応車両に乗り込んだ際も、いつもの環境を設定し、ドライバーをおもてなしします。



乗車中

車内Wi-Fi

車内でWi-Fi[®]によるデータ通信を利用することができます。DCMがWi-Fi[®]スポットとなり、お客さまやご家族、ご友人のスマートフォンやタブレットを接続することでデータ通信やインターネット接続を容量無制限で楽しむことができます。また、ナビ画面でインターネットブラウザ機能をお使いいただくこともできます。車内Wi-Fiは月額利用料がかかる有料オプションサービスです。

※Wi-Fi接続機器は5台まで同時接続可能です。 ※直近3日間(当日は含まれません)で6GB以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。 ※Apple CarPlayのワイヤレス接続と車内Wi-Fiは併用できません。Apple CarPlayをお使いの場合は、ケーブル接続にてご利用ください。

降車後



My LEXUS
アプリ

マイカー始動ロック

スマートフォンアプリ「My LEXUS」で操作やスケジュール設定を行うことにより、離れた場所からクルマの始動をできなくすることができます。車両盗難が多い夜間など、クルマを使わない時間帯にご利用いただくことにより、盗難防止に役立てることができます。



※マイカー始動ロックは車両の始動を禁止することで車両盗難を抑制するものであり、車両盗難を完全に防止するものではありません。 ※ご利用時にアプリ上で数字6桁の暗証番号を設定いただけます。通信圏外エリアや通信状態が悪い場合など、万が一アプリからロック解除できない場合は、暗証番号をナビ画面に入力することでロック解除できます。 ※本機能はクルマの始動をできなくするサービスとなるため、始動ロック中はクルマを使用することができません。必要なとき以外は使用しないでください。 ※ドアが施錠されていないなど、クルマのオートアラームがセットされていない場合、本機能の作動に時間がかかります。クルマから降りる際は必ずドアを施錠してください。

鮮度ある情報でドライブをアシストするナビゲーション

コネクティッドナビ(車載ナビ有)

G-Link契約でご利用いただけるセンター通信型のナビ機能です。

	必要な契約	特徴	G-Link解約後
コネクティッドナビ(車載ナビ有) 	G-Link	<ul style="list-style-type: none"> ・車載機にナビデータを保持する、G-Linkセンター通信型ナビ ・最新の目的地情報と地図データを利用可能* 	車載ナビ機能を利用可

* 通信圏外エリアや通信障害時等、通信環境によって車載ナビを使ったナビ機能を使用します。

従来のナビゲーションよりもリアルタイムな情報提供を可能にしました。例えば飲食店検索では、口コミ点数や営業時間を検索結果の一覧に表示します。また、駐車場検索では、料金や空き状況を地図上に表示するなど、目的地の選択に役立つ幅広い情報を提供します。

【サービス】
駐車場検索

【表示コンテンツ】
・ブランドアイコン
・満空情報
・料金情報



【サービス】
グルメ検索

【表示コンテンツ】
・食べログの
レーティング(口コミ)
・営業時間



ドライブ時間を心地良くする細やかなおもてなし

エージェント(音声対話サービス)



最新エージェントは、一切のスイッチ操作なく「Hey レクサス」とクルマに話しかけるだけで起動。G-Linkセンターのコンテンツを利用して目的地検索やニュース、天気予報などの情報提供、ナビゲーションやオーディオ操作にも対応しています。

※ステアリングのトークスイッチ、あるいはタッチディスプレイ上のマイクボタンを押して発話することでの起動も可能です。
※一部機能は、G-Linkの契約有無に関わらずご利用いただけます。

■起動ワードに対応

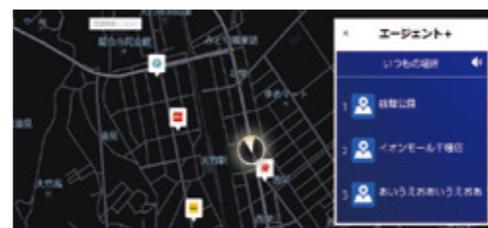
「Hey レクサス」など声でエージェントを起動。
起動ワードは自由に設定できます。

■ナビゲーションやオーディオ操作にも対応

「地図を拡大して」「FM(周波数)に合わせて」「温度をあげて」などの操作も可能です。
詳しくは右記取扱説明書サイト (<https://manual.lexus.jp/>) でご確認ください。

■「エージェント+」で先読み案内

ルート設定に関係なく日常の走行情報から先読みして役立つ情報を提供します。



オーディオ&ビジュアル機能

スマートフォンとタッチディスプレイを連携させるApple CarPlay、Android Auto™に対応。音楽再生やハンズフリー通話、メッセージの送受信など、お気に入りのアプリケーションを車内でもスムーズにお使いいただけます。

◎Apple CarPlay / Android Auto™に対応*

◎地上デジタルTVチューナーを標準装備

◎フロントセンターコンソールのUSB Type-Aに接続して、携帯音楽プレーヤーやUSBメモリー (MP3/WMA/AAC/WAV (LPCM) /FLAC/ALAC/OGG Vorbis) を再生

◎Bluetooth®AVプロファイル対応の携帯音楽プレーヤーをワイヤレス再生

◎Bluetooth®対応の携帯電話によるハンズフリー通話

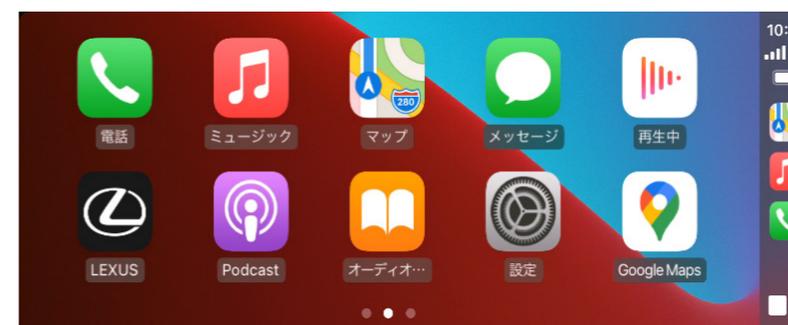
*ご利用にはUSBケーブルが別途必要です。Apple CarPlayのみ、USB接続に加え、Wi-Fi®による無線接続に対応します。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

*Apple CarPlayのワイヤレス接続と車内Wi-Fiとは併用できません。車内Wi-Fiをお使いの場合は、ケーブル接続にてご利用ください。

*Apple CarPlay/Android Auto™は、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。詳細はWEBサイトをご確認ください。

*走行中は安全のため一部操作できない機能があります。

*TV放送は安全のため走行中は画像が消え、音声のみとなります。外部メディアの映像は、録画機器の種類によって再生できない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

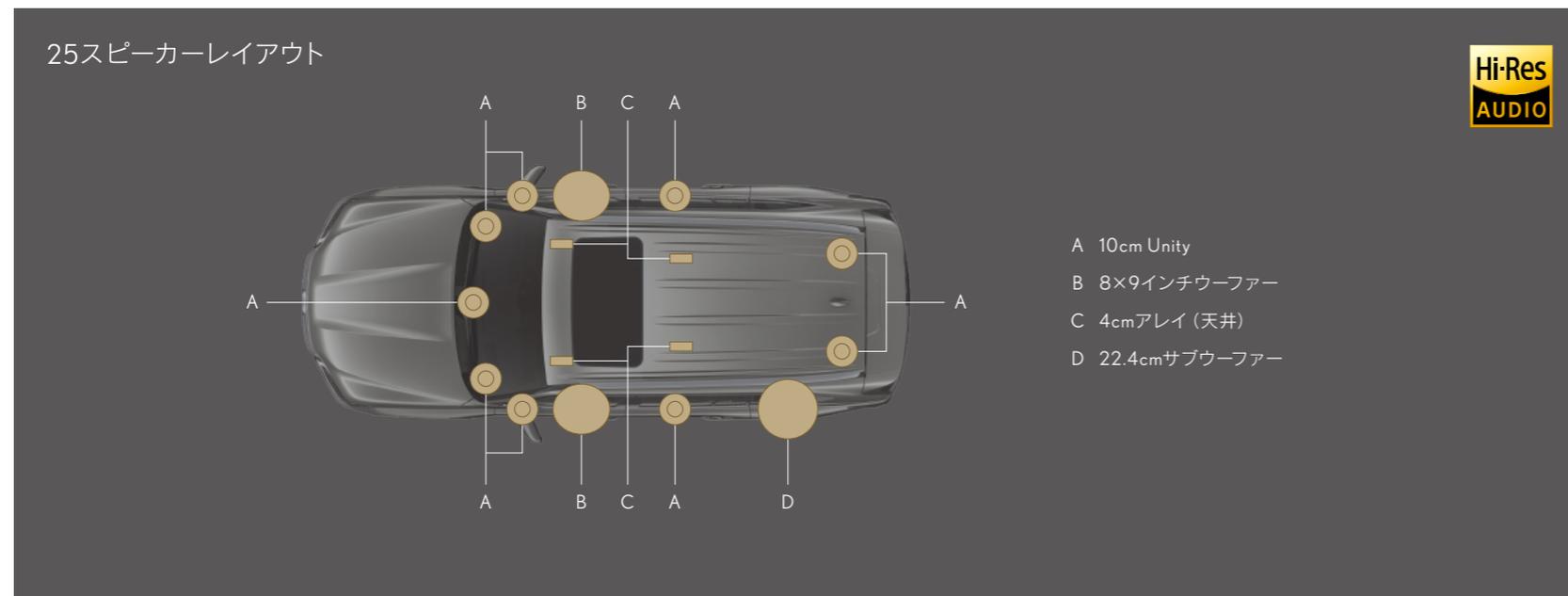


Apple CarPlay 画面

フラッグシップSUVにふさわしい音質を実現したサウンドシステム

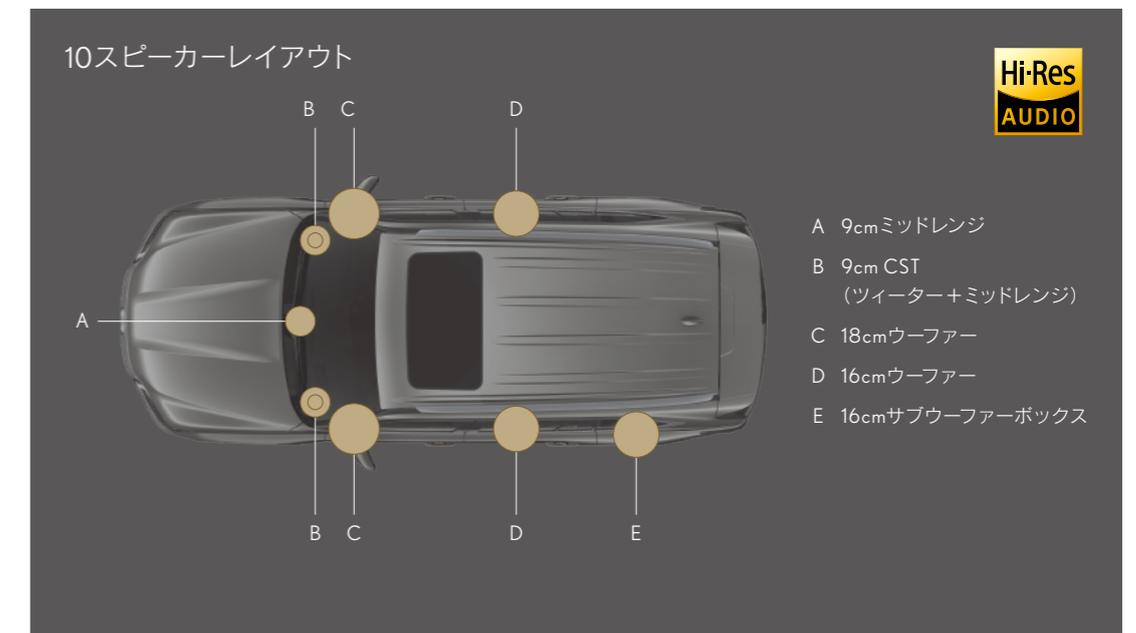
“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム “EXECUTIVE” LX600 “OFFROAD”

ハイエンドオーディオというジャンルを確立し、40年以上にわたり君臨し続けているマークレビンソン。そのオーディオを搭載するただ一つのプレミアムカーブランドがレクサスです。LXでは歪みのないピュアな音を実現するために、Mark Levinson PurePlayコンセプトに基づき、レクサス最多25個のスピーカーを最適に配置しました。9つのUnityスピーカー(ツイーター+ミッドレンジ一体構造)の高さを合わせ、キャビンを囲むように配置することで、前後左右に広がるステージ感とクリアで統一された中高音域の再生を実現しています。さらに天井スピーカーを配し、Quantum Logic™ Immersion (QLI) サウンドテクノロジーにより立体的な3Dサウンドを生み出し、自然な包まれ感、正確なステージ感・定位・ダイナミクス再生を実現。コンサートホールに居るかのような感動のリスニング体験を提供します。またClari-Fi™ (クラリファイ) 圧縮音源復元テクノロジーにより、音楽ファイルの圧縮時に失われた低音・高音の補完、圧縮時に生じた歪の除去を可能にし、自然なボーカルの質感やステレオ感までも復元します。ハイレゾ再生にも対応しています。



レクサスLXプレミアムサウンドシステム LX600 “OFFROAD”

豊かでキレイのある低音域再生をめざし、大容量のサブウーファーボックスを含む10個のスピーカーで構成したシステム。目の前に浮かび上がるラグジュアリーなサウンド空間、パワフルな低音域再生を実現しました。インストルメントパネルに配置したCSTスピーカーはツイーターとミッドレンジの特性を併せ持ち、同一の音響中心から音を発することで明確な音像定位と豊かな音場を両立させます。また、デッキサイドにサブウーファーボックスを採用し、LXの力強い走りと同調する、クリアで迫力のある重低音を再生します。ハイレゾ再生にも対応しています。



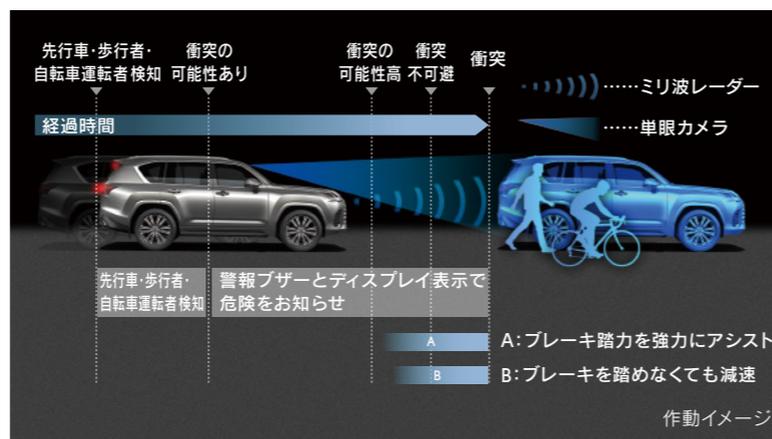
※日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にロゴを冠しています。

※トヨタ自動車(株)と複数の日本オーディオ協会会員企業による協業によりハイレゾ定義に準拠した製品となっております。一部スピーカーの変更/オーディオの変更をした際には、ハイレゾ音質をサポートしません。

車両、歩行者、自転車運転者を検知するプリクラッシュセーフティ

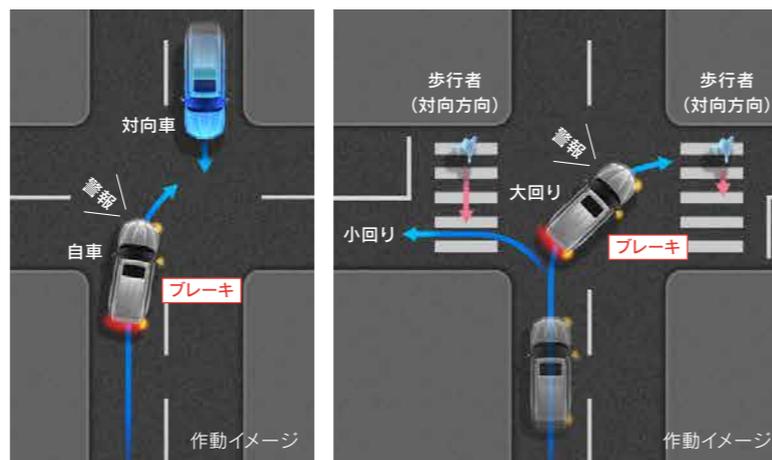
プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼]検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式)

前方の車両や歩行者（昼夜）、自転車運転者（昼）をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーとマルチインフォメーションディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキを踏めた場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。プリクラッシュブレーキは歩行者や自転車運転者に対しては自車が約10～80km/hの速度域で作動し、たとえば、歩行者との速度差が約40km/hの場合には、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、車両に対しては自車が約10km/h以上で作動。たとえば、停止車両に対し自車の速度が約50km/hの場合は、衝突回避または被害軽減をサポートします。なお、対向車に対しては減速して衝突時の速度低減をサポートします。



〈交差点右左折支援〉

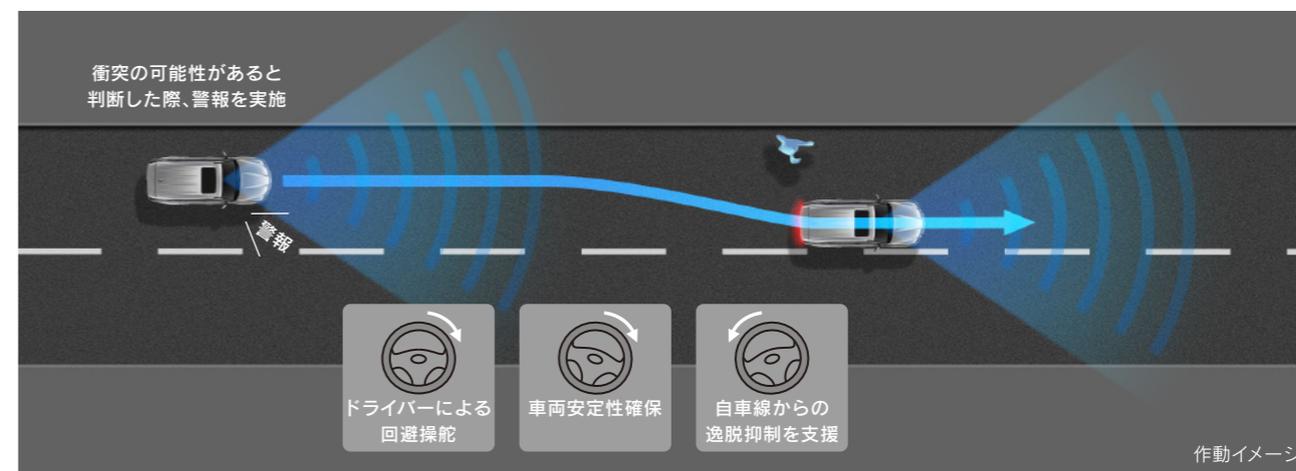
交差点右折時に直進してくる対向車および右左折時に対向方向から横断してくる歩行者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせ、その後プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします(自転車運転者は検知しません)。



〈緊急時操舵支援〉

歩行者、自転車運転者、車両と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合で、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。

※回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。



〈低速時加速抑制〉

低速時の自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

※本機能はパーキングサポートブレーキ(前後方静止物) [PKSB]の対象物である壁などに対しては作動しないシステムで、パーキングサポートブレーキ(前後方静止物) [PKSB]の代替機能となるシステムではありません。
 ※本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車運転者の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。数値は社内測定値。

車線維持支援から救命・救護までサポートするレーントレーシングアシスト[LTA]

高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時に、車線維持に必要なステアリング操作支援を行うことでドライバーの運転負荷を軽減します。また、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)を使用していない場合でも、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は作動可能です。

※安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、車線逸脱抑制機能と車線維持支援機能が停止します。 ※レーントレーシングアシスト[LTA]は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。 ※車線逸脱警報機能(車線維持支援機能中は除く)、車線逸脱抑制機能は約50km/h以上で作動します。 ※例えば次のような条件下では、車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能が正常に作動しない場合があるため、使用しないでください。 ●車線と見間違えるような路側構造物がある時(ガードレール、反射ポールなど) ●分合流付近を走行中 ●急カーブを走行中 ●雨・雪・霧などで車線が見えにくい時 など ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能の作動をキャンセルする場合があります。 ●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など) など ※車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は走路の境界がはっきり見えない場合、または直線的ではない場合には正常に作動しない場合があります。 ※故意に車線から逸脱して走行するなど、システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。 ※車線維持支援機能が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。

〈車線維持支援機能〉

緩やかなカーブでの支援に加え、滑らかにふらつき少なくレーン中央をキープする走行が可能です。カメラ認識技術の向上により、レーントレース性能が大幅に向上しました。白(黄)線が検出困難な場合でも先行車に追従する支援を行います。また、曲がりきれず車線を逸脱する可能性がある場合には、表示による注意喚起を行い、ドライバーのステアリング操作を促します。さらには、カメラによる車線認識性能の向上により、カーブの大きさに合わせてあらかじめ減速。カーブ走行時の横Gをつねに一定にすることで、安定した快適な走行を実現するとともに、より半径の小さなカーブでも途切れのない運転支援を可能にしました。

※状況によっては注意喚起が表示されない場合があります。

〈車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能〉

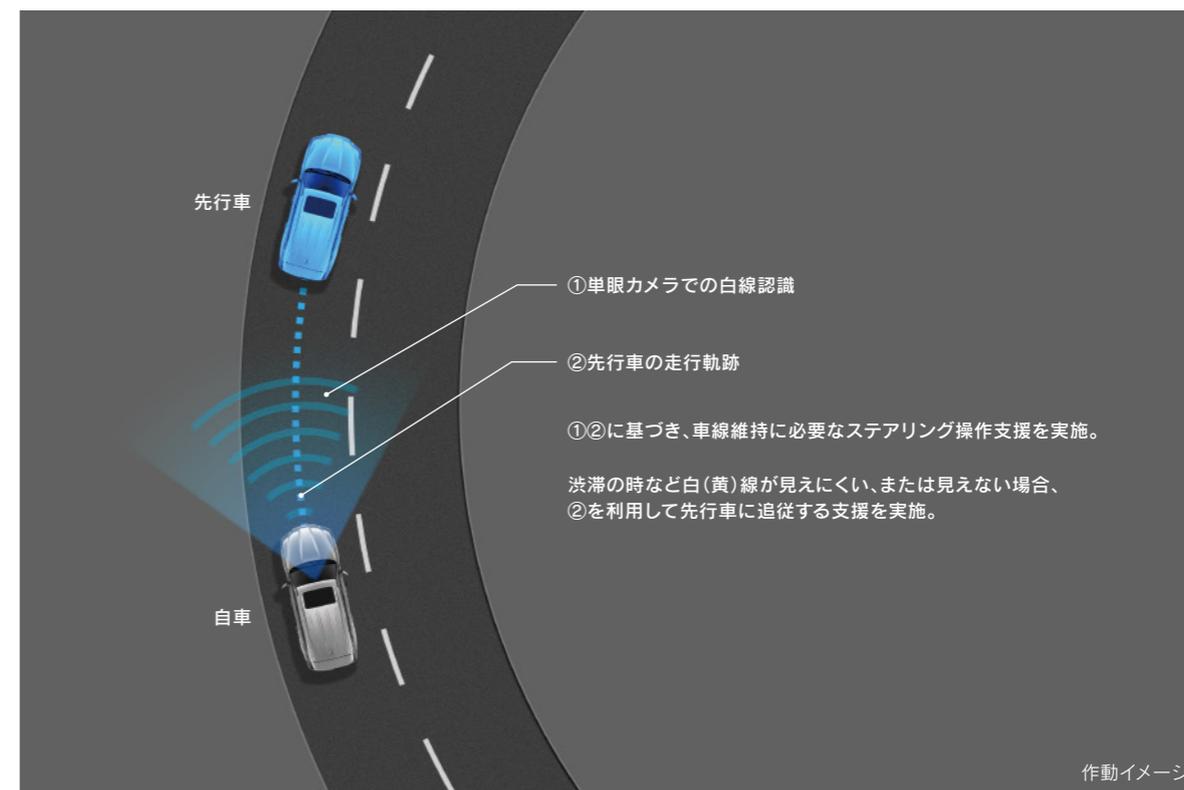
車線から逸脱するおそれがある場合にカラーヘッドアップディスプレイ、マルチインフォメーションディスプレイへの表示、およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告するとともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。さらに、車線の判断については、白線だけでなくアスファルトと草・土・縁石などの境界から逸脱すると判定した場合も支援します。

ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト[LTA]制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザードとホーンで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット[®]*自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

*ヘルプネット[®]はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。

※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路(一部を除く)を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。



路肩や遠方が格段に見やすいブレードスキャン[®]アダプティブハイビームシステム[AHS]

ブレードスキャン[®]アダプティブハイビームシステム[AHS]

夜間の視認性を飛躍的に高めるブレードスキャン[®]AHS。高速回転するブレードミラーにLEDの光を反射させ、その残像効果によって滑らかに前方を照らします。また、ブレードミラーの回転に合わせてLEDの点灯・消灯を制御することで、照射エリアと遮光エリアをきめ細かく調整。遠方の歩行者や路肩、標識などをより早く認知できる配光を実現します。さらに、先行車や対向車に直接ハイビームを当てないように部分的に遮光するなど、夜間走行時のストレスを軽減し、安全運転に寄与します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。
詳しくはレクサス販売店におたずねください。



ドライバーの運転負荷軽減や注意喚起に寄与する、幅広いサポート [1]

レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)

ミリ波レーダーと単眼カメラを使って先行車を認識し、車速に応じた車間距離を保つことで追従走行を支援します。先行車が停止したときは、自車も停止して停止状態を保持。先行車が発進したときは、ドライバーの操作によって発進し、追従走行を再開します。高速道路の渋滞走行時など停止発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減します。ミリ波レーダーの検知角度広角化と、単眼カメラによる広い前方認識範囲により、特に前方車両に対する割り込み検知にすぐれた認識性能を確保しています。また、約80km/h以上で、ウインカー操作をした際は、遅い先行車がいっても、追い越しに向け徐々に加速を開始し、スムーズな走行を支援します。さらに、レーダークルーズコントロールで走行中、システムが必要と判断した場合、ステアリングの切り始めで速度抑制を開始するカーブ速度抑制機能を装備しています。

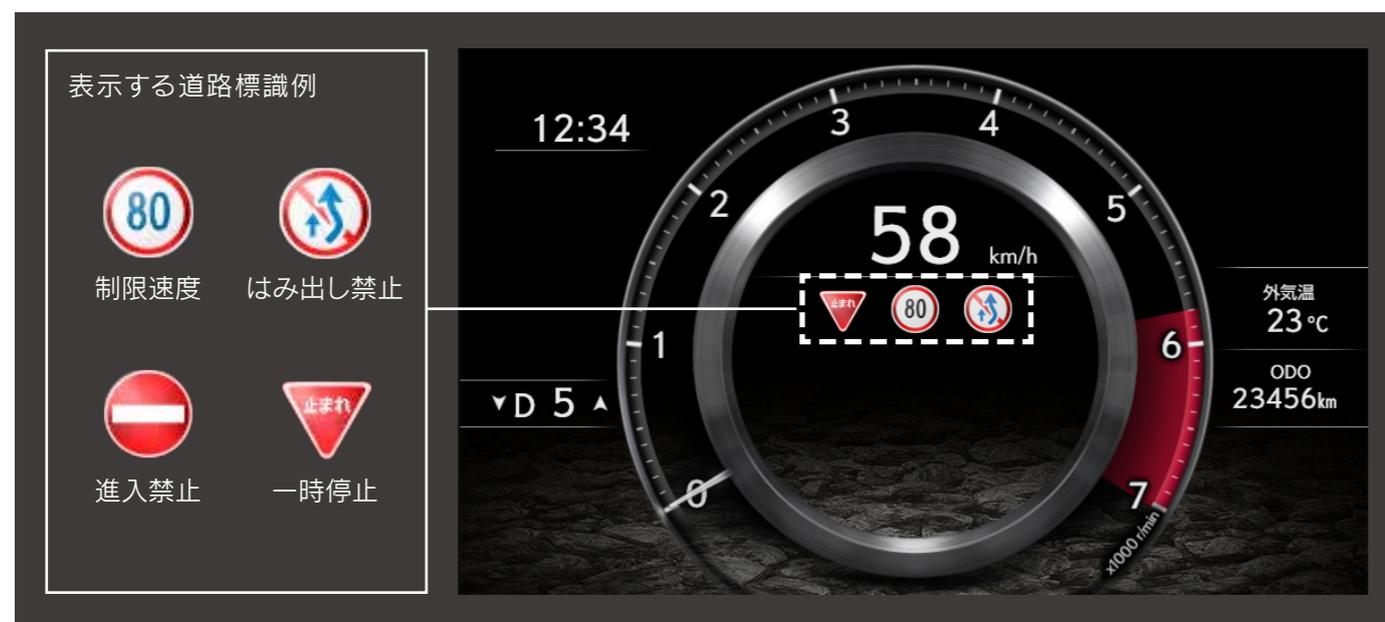
※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



ドライバーの運転負荷軽減や注意喚起に寄与する、幅広いサポート [2]

ロードサインアシスト[RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「車両進入禁止」「一時停止」の道路標識を、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。カラーヘッドアップディスプレイには、「最高速度」もしくは「車両進入禁止（告知時）」の道路標識を表示。道路標識の見落としを減らし、安全運転を促します。また、単眼カメラによって認識された「最高速度」「はみ出し通行禁止」「車両進入禁止」の道路標識に対し、違反動作を行っているシステムが判断した場合、表示の反転や点滅でドライバーに告知する機能もあります。

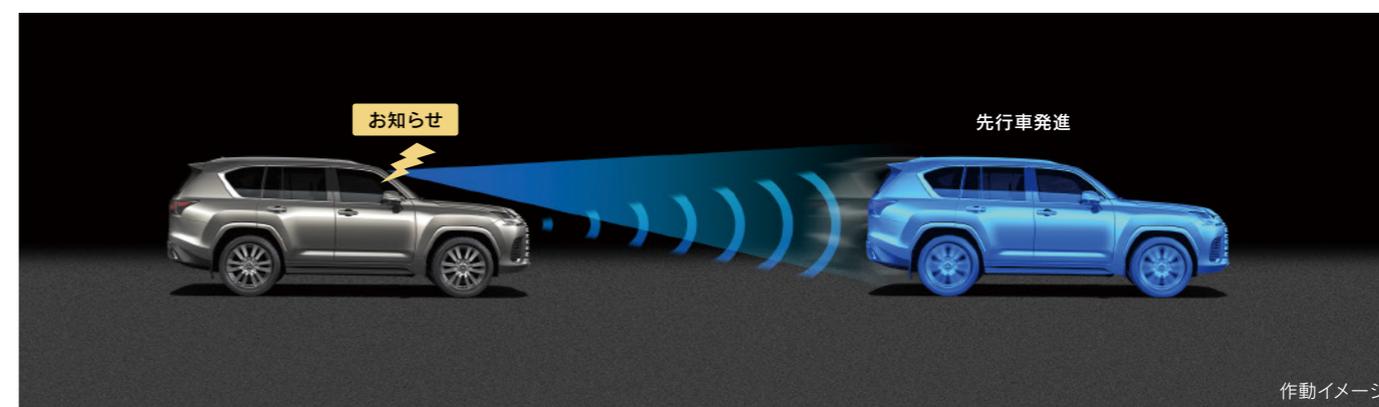


※カスタマイズにより、ブザー音（「最高速度」「車両進入禁止」「はみ出し通行禁止」）を作動させることや、告知無しにすることも可能です。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

（付帯機能）先行車発進告知機能[TMN]

先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出し、自車が先行車に続いて停止後、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、カラーヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーションディスプレイ表示、およびブザーで先行車の発進をお知らせします。



※シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。

※先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

⚠ Lexus Safety System + を安全にお使いいただく上での留意事項説明

Lexus Safety System + は予防安全パッケージです。

ご契約に際し、Lexus Safety System +、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

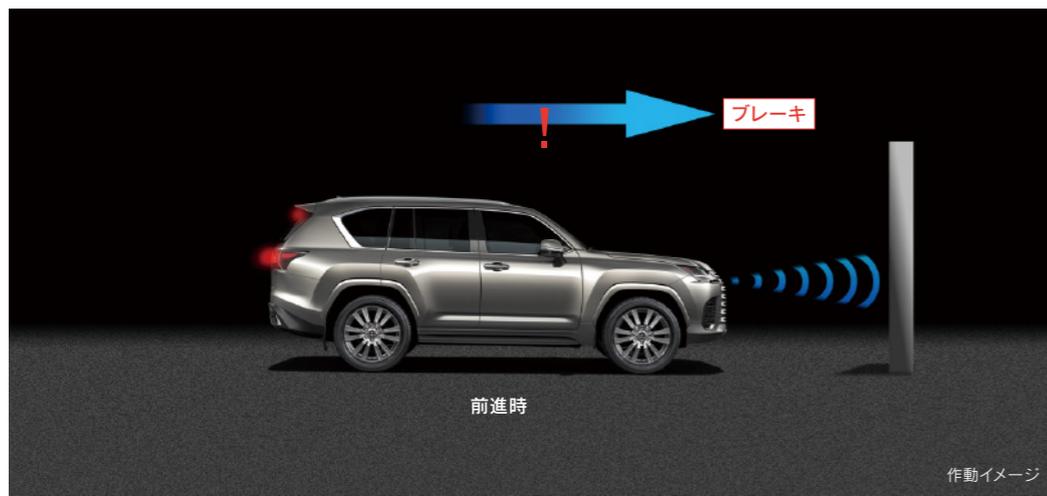
ご使用になる際のお客さまへのお願い

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車両姿勢が変化する架装・改造や、各システムのカメラ・センサーを遮るような架装・改造を行うと、各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ご使用前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。

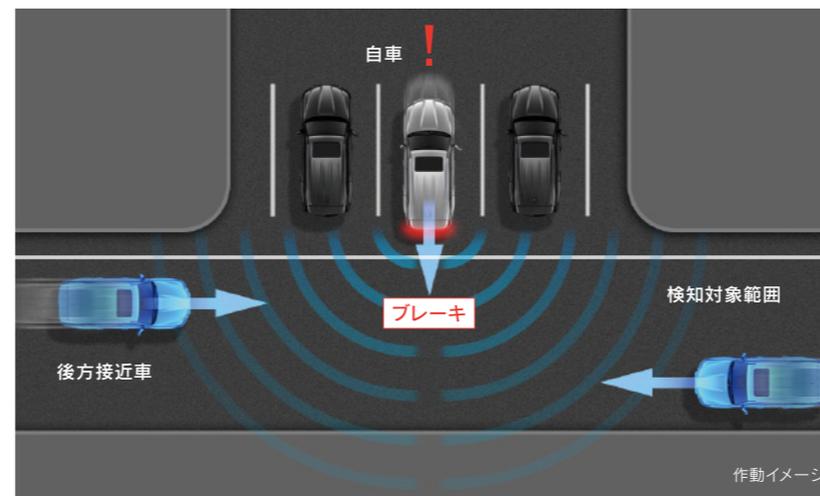
接触事故の低減に寄与する駐車支援システム

パーキングサポートブレーキ(前後方静止物+後方接近車両+後方歩行者) [PKSB]

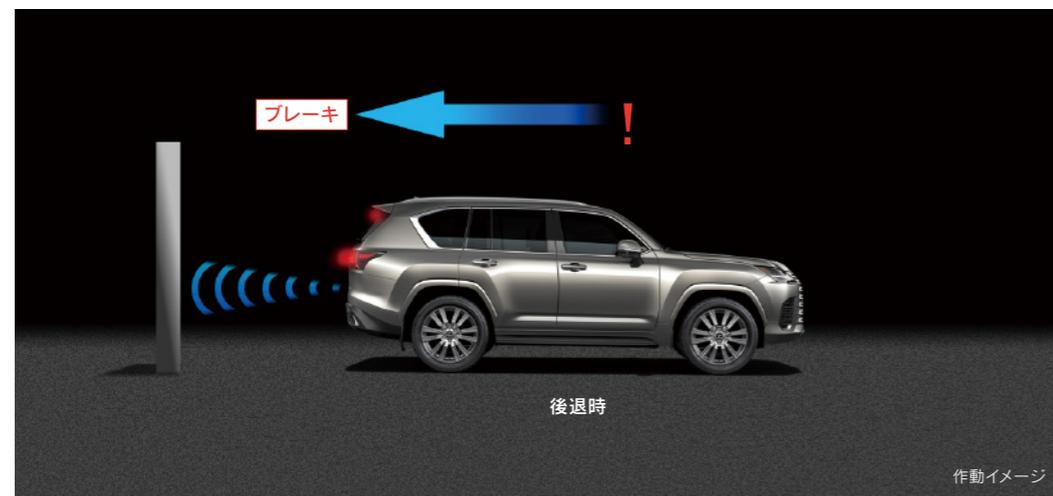
パーキングサポートブレーキ(前後方静止物) [PKSB]



パーキングサポートブレーキ(後方接近車両) [PKSB]



パーキングサポートブレーキ(後方歩行者) [PKSB]



低速走行時に壁などの静止物までの距離と危険度を、カラーヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーションディスプレイ、およびフロント・リヤブザーなどでお知らせします。低速走行時に壁などの静止物と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

後退して出庫する際、自車後側方から接近する車両の存在を、ドアミラー、12.3インチタッチディスプレイ、およびリヤブザーでお知らせします。自車後側方から接近する車両と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者の状態等によっては、作動しない場合があります。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※パーキングサポートブレーキ [PKSB] が作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。

※歩行者以外の立体物に対しても作動することがあります。ブレーキ作動後はブレーキを踏んで周囲の確認をお願いします。

※字光式ナンバープレートは装着できません。



LXは「セーフティ・サポートカーS<ワイド>」です。

セーフティ・サポートカーS<ワイド> (サポカーS<ワイド>) は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキ [対歩行者・対車両]、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトなどの安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

■ Lexus Safety System + / パーキングサポートブレーキ [PKSB]

※安全装置の各機能の作動には、速度や対象物等の条件があります。また、各機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候等により作動しない場合があります。詳しくは、取扱説明書、またはlexus.jpをご覧ください。レクサス販売店におたずねください。

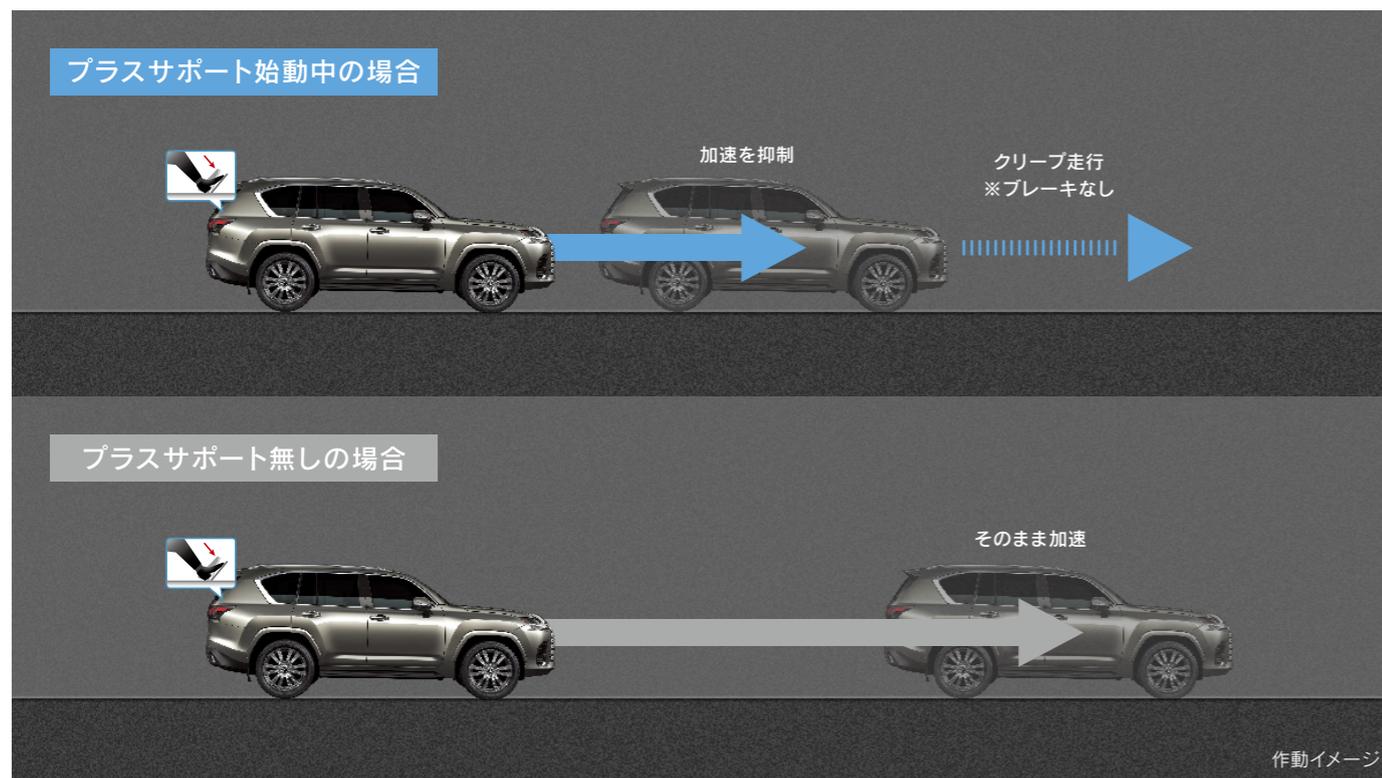
※安全装置はドライバーの安全運転を支援するためのものです。機能を過信せず、安全運転を心がけてください。

アクセルの踏み過ぎ時などで加速を抑制する、レクサス純正用品

[DEALER OPTION]

プラスサポート(急アクセル時加速抑制) 全車

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏み過ぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、警報ブザーとマルチインフォメーションディスプレイ表示でドライバーに注意喚起する機能です。専用キーでのドア解錠でプラスサポートが自動で始動します。



プラスサポート用スマートキー(電子キー)(カードキー) 全車

標準キーと区別しやすい、サテンゴールド加飾の専用キーです。



マルチインフォメーションディスプレイ表示

- ※本製品にメカニカルキーは付属していません。
標準スマートキーに付属のメカニカルキーを本製品に差し替えてご使用ください。
- ※メカニカルキーが無い状態では、電子キーの電池が切れた時にドアロックを解除できなくなります。メカニカルキーは追加で購入していただくことも可能です。レクサス販売店におたずねください。
- ※ブレーキを制御するシステムではありません。
- ※自車車速約30km/h以下で作動します。
- ※前進および後退時に作動します。
- ※アクセルを速く強く踏み込むような運転をした場合に、意図せずシステムが作動することがあります。
- ※プラスサポートで運転中でも、右左折時や車線変更時、一時停止位置や信号待ちからの発進時、急な坂道での発進や加速時には、通常どおり加速できます。ただし、方向指示レバーを操作せず右左折や車線変更をしたり、ブレーキを踏まない状態(ブレーキホールドでの停車中含む)から発進するとシステムが作動することがあります。その場合は、一度アクセルを離し、ゆっくり踏みなおせば加速が可能です。
- ※プラスサポート用スマートキー(電子キー・カードキー)と標準スマートキーは同時に携帯せず、目的に合った1種類のキーのみ携帯してください。プラスサポートが作動しない可能性があります。マルチインフォメーションディスプレイの表示で始動中であることをご確認ください。

ドアと自転車などとの衝突回避に寄与する、停車時警報機能付ブラインドスポットモニター

ブラインドスポットモニター[BSM]/ 後方車両への接近警報

走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約60m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケーターが点滅し、より注意を喚起します。また、後方車両への接近警報は、後方車両から衝突される可能性が高いと判断した場合、ハザードランプを高速点滅させて、後方車両に注意喚起します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※ブラインドスポットモニター[BSM]はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

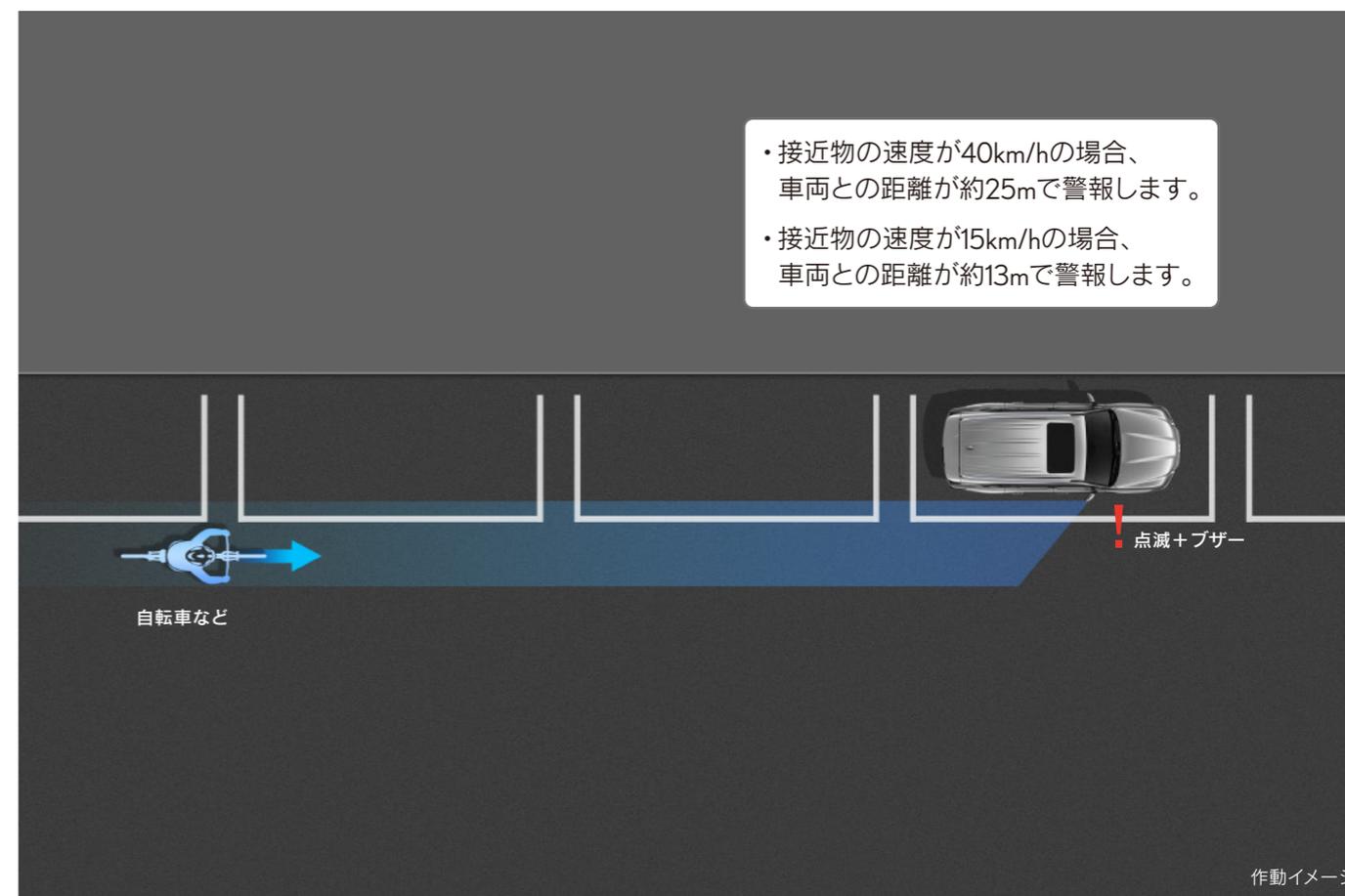


〈停車時警報機能〉

自車停車中にセンサーで後方から接近してくる自転車・車両(二輪・四輪)を検知し、ドアオープン時のドアとの衝突可能性を判断して衝突回避や被害軽減を支援します。衝突可能性がありドアが開いた場合は、ドアミラー内のインジケーター点滅、およびブザーにより注意を喚起します。

※歩行者、および前方から接近してくる自転車・車両(二輪・四輪)は検知対象外です。

※停車時警報機能は自車停車中(0km/h)ならびに自転車・車両(二輪・四輪)との相対速度が自転車は約8km/h～30km/h、車両(二輪)は約8km/h～50km/h、車両(四輪)は約8km/h～60km/hで作動します。



安心感につながる充実の安全テクノロジー

デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をワイドミラーのディスプレイに表示することで、後席の乗員やヘッドレストに遮られることなく後方の安全確認を行えます。高画質の映像により、鏡面ミラーモードからデジタルインナーミラーモードに切り替えた際の自然な色調、夜間のクリアな視認性を実現しています。

※初めての走行前や運転者が代わる場合には、必ずミラーの調整を安全な場所に停車して行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行わずに走行すると、映像が二重映りする場合があります。また、ムーンルーフからの外部光による反射でディスプレイが見えにくい場合にはシェードを閉めてください。体調・年齢などにより、画面に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。また、着雪や雨滴、汚れ等により映像が見えづらくなる場合があります。その場合には鏡面ミラーモードに切り替えてご使用ください。夜間など暗い場所では周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特有のちらつきが発生する場合があります。



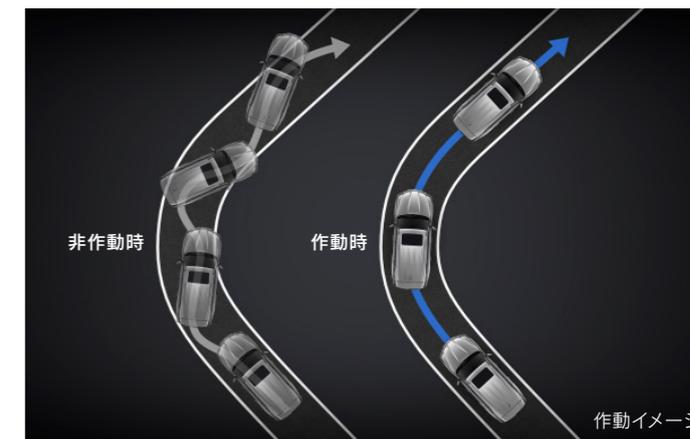
鏡面ミラーモード



デジタルインナーミラーモード

マルチトレインABS(電子制動力配分制御付) & ブレーキアシスト

ブレーキをかけた際のタイヤのロックを防止するABS機能に加え、車両状態に応じて各輪に適切な制動力配分を行う電子制動力配分制御機能を採用。さらに、マルチトレインABSが、ダート路・砂利路・砂地路などオフロードにおいても、すぐれた制動性能を確保します。また、緊急ブレーキを感知した際に強い制動力を発生させるブレーキアシストも搭載しています。



LEDコーナリングランプ

夜間走行時に交差点などを曲がる際に、ウinkerまたはステアリングを操作した方向を広範囲で照らします。見えにくい車両の側方や上方を明るく照らし、進行方向の状況や歩行者の存在などをいち早く認識することができます。



ITS専用周波数で通信し、安全運転をサポート

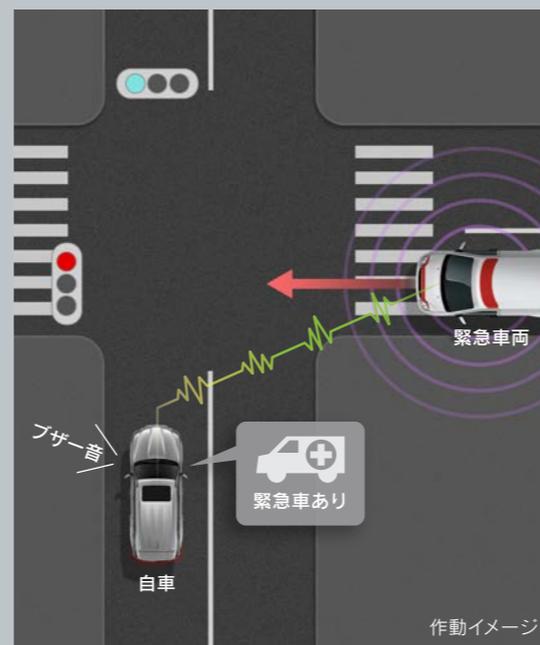


ITS Connect

クルマのセンサーでは捉えきれない見通し外の情報や信号等の情報を、クルマとクルマ、あるいは道路*とクルマが直接通信し、カラーヘッドアップディスプレイやマルチインフォメーションディスプレイでの表示、ブザー音でドライバーに知らせ、安全運転を支援するシステムです。

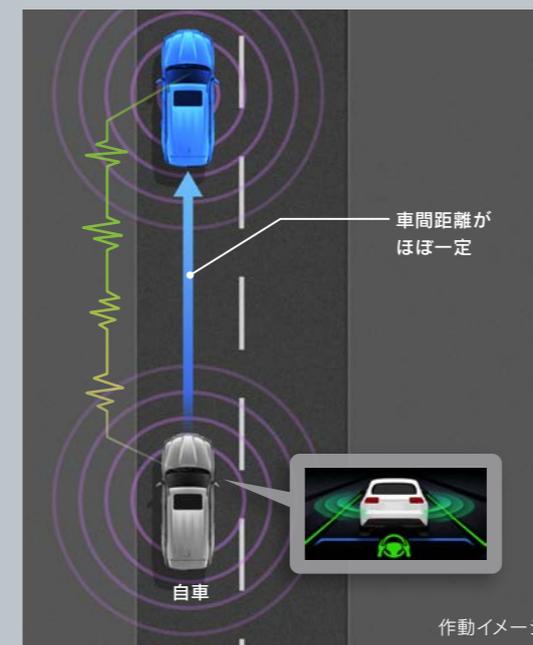
- *路車間通信システムに対応した路側装置は、2023年10月現在、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県に設置されています。
- ※本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。本システムはあくまでも補助機能です。システムを過信せず、つねに道路状況に注意し、安全運転を心がけてください。
- ※緊急車両存在通知は、通信機を搭載していない車両の存在は案内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。
- ※通信利用型レーダークルーズコントロールは、先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。
- ※右折時注意喚起は、路側装置が設置された交差点であっても、路側装置の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。なお、対向車や歩行者が路側装置（感知器）の検出範囲外に存在している場合や、路側装置（感知器）が車両の特徴や環境条件・経年変化等によって未検知や誤検知を起こす場合は、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。ご利用可能なサービス提供場所については、レクサス販売店におたずねください。
- ※右記の機能は一例です。

クルマとクルマがつながる車車間通信システム



緊急車両存在通知

サイレンを鳴らしている緊急車両（救急車）が存在する場合に、ブザー音で通知し、自車両に対するおおよその方向・距離・緊急車両の進行方向を表示します。救急車が見えにくい、騒音でサイレンが聞こえにくい等の状況でも、事前に緊急車両の存在を知ることが可能となります。



通信利用型レーダークルーズコントロール

レーダークルーズコントロールで先行車に追従している時、先行車が通信利用型レーダークルーズコントロール対応車両であれば、車車間通信により取得した先行車の加減速情報に素早く反応して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行が可能となります。

道路*とクルマがつながる路車間通信システム



右折時注意喚起

交差点右折時、道路側の路側装置で死角の対向車や右折先の横断歩行者を検知。接近している対向車や歩行者がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。

ITS Connectについて詳しくは [こちら](#)

すぐれた衝突安全性能を実現したフレーム & ボディとエアバッグシステム

全方位の衝突安全性能に対応

強靱な骨格を支えてきた伝統のラダーフレームを新たに開発し、最適なサイドレール断面特性、クロスメンバーの最適配置や高い結合剛性による高強度構造、適材適所に配した高張力鋼板などにより、高い堅牢性と剛性を確保しました。キャビンは高張力鋼板を採用するとともに前方からの衝突エネルギーを効果的に吸収する構造により、乗員の安全空間を守るすぐれた衝突安全性能を実現しています。

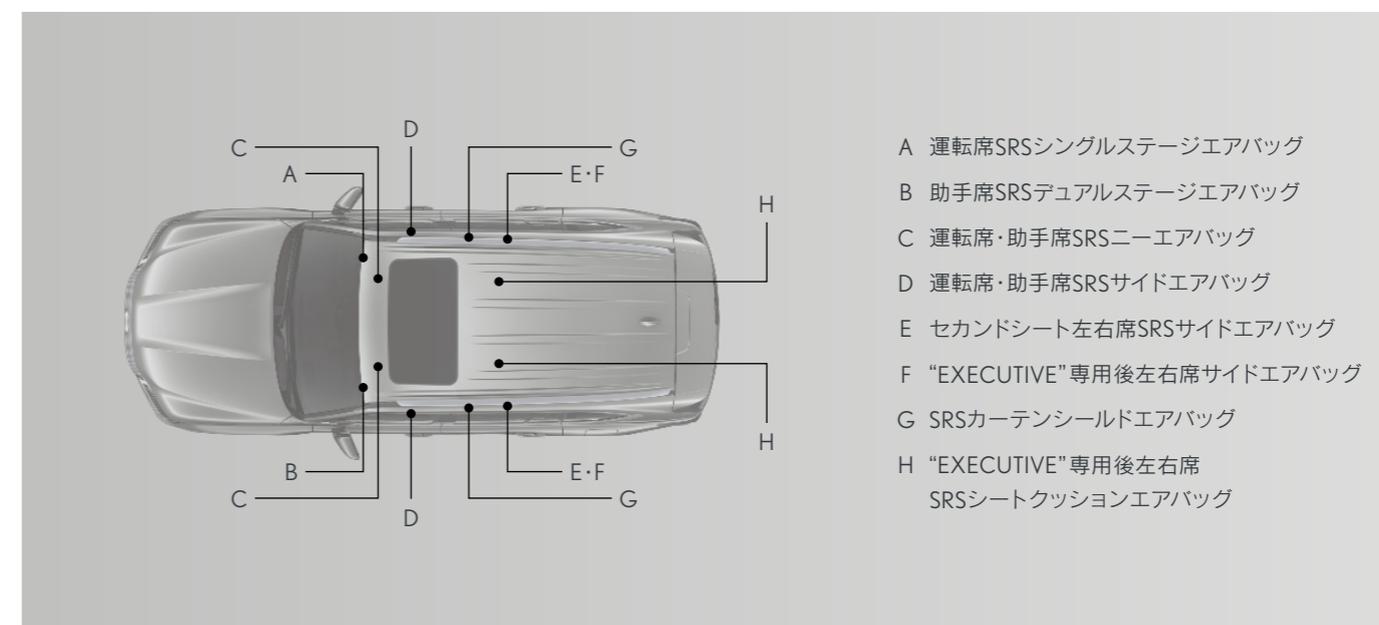
歩行者保護にも対応したボディ

高張力鋼板をボディ骨格に採用し、軽量化しつつ、高い強度を実現。またアルミニウムを使用したエンジンフードはエンジンコンパートメントとの空間を確保し、歩行者の頭部への衝撃緩和に配慮しました。

SRSエアバッグシステム

運転席SRSシングルステージ・助手席SRSデュアルステージエアバッグおよびSRSニーエアバッグは前席乗員の頭や胸の上体、膝などの下肢に作用する衝撃力を分散・緩和。車両側方からの衝突による胸部への衝撃を緩和するSRSサイドエアバッグ、乗員の頭部面まで保護するSRSカーテンシールドエアバッグなどを設定しています。また、“EXECUTIVE”には後左右席SRSシートクッションエアバッグを設定しています。

世界の法規・アセスメントに対応した高強度フレーム & ボディ



※SRSエアバッグシステムは衝突時の条件によっては作動しない場合があります。SRSエアバッグはあくまでシートベルトを補助する装置ですので必ずシートベルトをご着用ください。

Other Equipment [1]

ルーフレール* / ムーンルーフ (チルト & スライド式)

ルーフレールは軽量化素材のアルミニウムを使い、慣性モーメント低減に寄与。室内に開放感をもたらすムーンルーフを標準装備しています。



*LX600 "OFFROAD" は専用カラー (マットマーキュリーグレーマイカ) となります。

サイドドアイージークローザー (フロント・リヤ)

サイドドアが半ドア状態の時、イージークローザー機能により確実にドアが閉まります。

※ドアを閉める際は、指などを挟まないよう十分ご注意ください。



半ドア



ドアクローズ

ハンズフリーパワーバックドア (挟み込み防止機能・停止位置 メモリー機能付)

両手が荷物でふさがっている時でも、キーを携帯している状態であれば、リヤバンパーの下に足を出し入れすることでバックドアの自動開閉が行えます。開閉速度と足の出し入れへの感度を向上させ、使い勝手をさらに高めています。



Other Equipment [2]

ドアミラー足元照明

ドアミラー内蔵の足元照明で路上にLEXUSロゴを映し出し、おもてなしを演出します。



ヒッチメンバー(カバー付)

牽引用のヒッチを覆い隠すヒッチメンバーカバーをリヤスキッドプレートに組み込み、シンプルなデザインにまとめました。



Other Equipment [3]

レクサス クライメイト コンシェルジュ

レクサス クライメイト コンシェルジュは、乗員一人ひとりに全身で感じられる心地良さを提供します。暖め過ぎや冷やし過ぎといった過度な働きを抑制することで、省エネにも貢献。あらかじめ好みの状態に設定しておくことで、一切の操作をすることなくつねに快適な状態でお過ごしいただけます。受け手側の望みを察して、すべてをあらかじめ整えることに心を砕く。この日本のおもてなしの真髓を、空調のハーモニーによってご提供します。



イメージ

◎クライメイトコンシェルジュスイッチ

ワンアクションで、オートエアコン、ステアリングヒーター、シートヒーター・シートベンチレーション付シートが作動。助手席、セカンドシートの着座乗員を検知すると各空調装備が自動的に連動し、快適な状態が維持されます。

◎4席独立温度調整オートエアコン

運転席、助手席、セカンドシート左右で吹き出し温度・吹き出し口をそれぞれ制御します。

◎シートヒーター・シートベンチレーション付シート（フロントシート・セカンドシート左右席）

速暖速冷機能により、乗車時間をより快適にし、「AUTO」設定で全身が快適な状態を維持することができます。

◎ステアリングヒーター

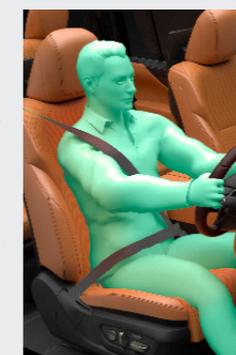
「AUTO」設定時、ヒーター作動条件を満たしていると自動的にONになり、一定時間暖めます。

レクサス クライメイト コンシェルジュ制御イメージ

（オートエアコン、ステアリングヒーター、シートヒーター・シートベンチレーション付シートを統合制御）



イグニッションON、
作動条件を判断して
各空調装備を自動
ON



自動制御により全身
で感じられる快適
状態を維持



その後、状態に
応じて自動OFF

Other Equipment [4]

ドライブモードセレクトスイッチ

モードセレクトダイヤルを切り替えることにより、走行シーンやドライバーの気分に合わせてドライビングを楽しむことができます。



SPORTS+	走りのポテンシャルをフルに引き出し、エモーショナルな走行を実現します。	COMFORT	サスペンション制御によって、より快適な乗り心地を実現します。
SPORTS	よりダイナミックで力強い加速感が得られる走りを提供します。	ECO	パワートレーンとエアコンを燃費優先の制御に変化させます。
NORMAL	走りと燃費のバランスにすぐれ、さまざまなシーンでのドライブに適しています。	CUSTOM	パワートレーン、シャシー、エアコンのモードを自分好みの組み合わせに設定できます。

おっだけ充電

フロントコンソールトレイ部の充電エリアに置くだけで、スマートフォンやモバイルバッテリーなどの充電が行えます。



※画像はLX600。

※LX600“EXECUTIVE”のおっだけ充電はリヤコンソールに設置され、フロントコンソールはトレイとなります。
 ※ご利用は、ワイヤレス充電の規格 Qi(チー)に対応した一部の機器、もしくはQiに対応したアクセサリを装着した機器などに限られます。対応の有無は各商品のメーカーにお問い合わせください。
 ※トレイ寸法(タテ約163mm、ヨコ約90mm)を超えるQi対応機器(アクセサリ類を含む)は、トレイに置くことができないため、充電はできません。
 ※機種によっては正常に作動しない場合やご注意ください項目があります。ご使用になる前に必ず取扱説明書をご覧ください。

[3Dシミュレーションはこちら](#)

EXTERIOR COLOR LINEUP



ソニッククォーツ〈085〉



ソニックチタニウム〈1J7〉

マンガンラスター〈1K2〉 全車

ブラック〈202〉



グラファイトブラックガラスフレーク〈223〉



テレーンカーキマイカメタリック〈6X4〉

Photo: LX600。265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)はメーカーオプション。

 =メーカーオプション

[3Dシミュレーションはこちら](#)

INTERIOR COLOR LINEUP [1]



ブラック*1 ※“EXECUTIVE”専用色。



ブラック*2



クリムゾン*2



サンフレアブラウン*1 ※“EXECUTIVE”専用色。



ホワイト&ダークセピア*2

※ダークセピアは、フロントドアグリップ、インストルメントパネル(運転席・助手席ロア)、グローブボックス、センターコンソール(アッパー・サイド)となります。



ヘーゼル*2

*1. Photo: LX600 “EXECUTIVE”。 *2. Photo: LX600(7人乗り)。

3Dシミュレーションは [こちら](#)

INTERIOR COLOR LINEUP [2]

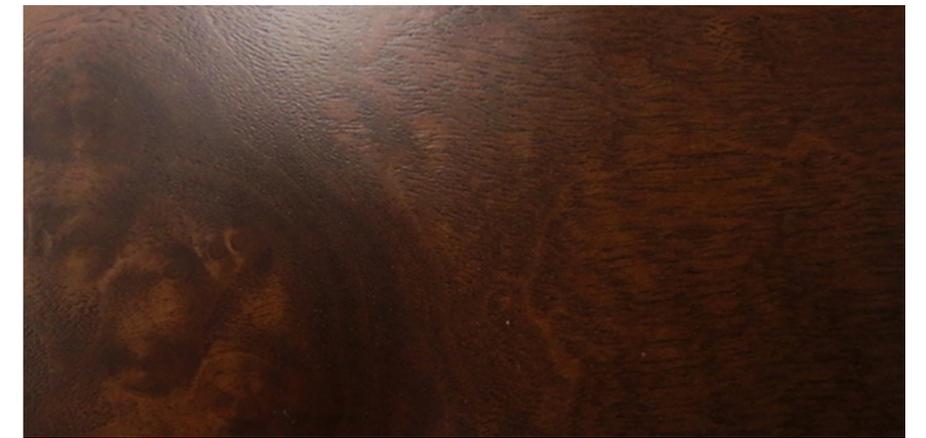
アートウッド(鷹羽) "EXECUTIVE"

寄木細工の技術を応用し、鷹の羽根の紋様を表現したアートウッド。職人が一つずつ丁寧に寄木し、三度にわたり切削を行うことで鷹の羽根を表現。圧倒的な繊細さで、レクサスのフラッグシップSUVにふさわしい柄を創出します。



アッシュ(オープンフィニッシュ/墨ブラック)

はっきりとした強い木目が特徴のアッシュバールを墨で染色。空本来の風合いで重厚感と気品を演出します。



ウォールナット(オープンフィニッシュ/ダークブラウン)



縞空(ブラック)

■内装色一覧表

●: 標準設定 ○: 設定あり(いずれかをお選びください) △: メーカーオプション

	シートマテリアル	インテリアカラー	オーナメントパネル/ステアリングの本木目			
			縞空 (ブラック)	アッシュ (オープンフィニッシュ/墨ブラック)	ウォールナット (オープンフィニッシュ/ダークブラウン)	アートウッド (鷹羽)
"EXECUTIVE"	セミアニリン本革*	ブラック	●	—	—	△
		サンフレアブラウン	●	—	—	△
LX600		ホワイト&ダークセピア	○	○	●	—
		ブラック	○	○	●	—
		クリムゾン	○	○	●	—
"OFFROAD"		ヘーゼル	○	○	●	—
		ホワイト&ダークセピア	○	○	●	—
		ブラック	○	○	●	—
		クリムゾン	○	○	●	—
		ヘーゼル	○	○	●	—

*シートの一部に合成皮革を使用しています。

□ = メーカーオプション

[価格・パッケージ比較はこちら](#)

パッケージ別主な標準装備比較

	スピンドルグリル	フロントフォグランプベゼル	タイヤ&アルミホイール	ホイールアーチモール
“EXECUTIVE” LX600“EXECUTIVE”			 265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール (プレミアムメタリック塗装)	
LX600			 265/55R20タイヤ&アルミホイール (切削光輝+ダークメタリック塗装)	
“OFFROAD” LX600“OFFROAD”	 “OFFROAD”専用 黒光輝塗装	 “OFFROAD”専用 漆黒メッキ	 265/65R18タイヤ&“OFFROAD”専用アルミホイール (マットグレー塗装)	 “OFFROAD”専用 ブラック

[価格・パッケージ比較はこちら](#)

パッケージ別主な標準装備比較

	ドアミラー	ウインドウモール/ドアハンドル	ルーフレール	リアバンパーサイドメッキモール
“EXECUTIVE” LX600“EXECUTIVE”				
LX600				
“OFFROAD” LX600“OFFROAD”	 “OFFROAD”専用 ブラック塗装&マットグレーメタリック加飾	 ウインドウモール: “OFFROAD”専用ブラックステンレス ドアハンドル: “OFFROAD”専用ブラック	 “OFFROAD”専用 マットマーキュリーグレーマイカ	 “OFFROAD”専用 漆黑メッキ

価格・パッケージ比較は [こちら](#)

パッケージ別主な標準装備比較

	乗車定員	シートアレンジ/ラゲージルーム容量・寸法																	
<p>“EXECUTIVE”</p> <p>LX600 “EXECUTIVE”</p>	 <p>4人乗り</p>	 <p>※画像はリラックスモード(ディスプレイ前倒し・オットマン展開状態)。</p> <table border="1"> <tr> <td>標準状態</td> <td>容量 767 ℓ</td> </tr> </table>	標準状態	容量 767 ℓ	 <p>※画像は標準状態。</p> <table border="1"> <tr> <td>①荷室長</td> <td>約1,023mm</td> </tr> <tr> <td>②荷室幅(トリム間床面)</td> <td>約1,322mm</td> </tr> <tr> <td>③荷室幅(ホイールハウス間床面)</td> <td>約1,006mm</td> </tr> <tr> <td>④荷室高(トノカバーまで)</td> <td>約528mm</td> </tr> </table>	①荷室長	約1,023mm	②荷室幅(トリム間床面)	約1,322mm	③荷室幅(ホイールハウス間床面)	約1,006mm	④荷室高(トノカバーまで)	約528mm						
標準状態	容量 767 ℓ																		
①荷室長	約1,023mm																		
②荷室幅(トリム間床面)	約1,322mm																		
③荷室幅(ホイールハウス間床面)	約1,006mm																		
④荷室高(トノカバーまで)	約528mm																		
<p>LX600</p> <p>(5人乗り/7人乗り)</p>	 <p>5人乗り</p>	<p>■5人乗り</p>  <p>※画像はセカンドシート前倒し状態。</p> <table border="1"> <tr> <td>標準状態[Ⓐ]</td> <td>容量 1,109 ℓ</td> </tr> <tr> <td>セカンドシートタンブル状態[Ⓑ]</td> <td>容量 1,960 ℓ</td> </tr> <tr> <td>セカンドシート前倒し状態[Ⓒ]</td> <td>容量 2,066 ℓ</td> </tr> </table>	標準状態 [Ⓐ]	容量 1,109 ℓ	セカンドシートタンブル状態 [Ⓑ]	容量 1,960 ℓ	セカンドシート前倒し状態 [Ⓒ]	容量 2,066 ℓ	<p>■5人乗り</p>  <p>※画像はセカンドシートタンブル状態。</p> <table border="1"> <tr> <td>①荷室長</td> <td>Ⓐ約1,165mm Ⓑ約1,629mm Ⓒ約2,082mm</td> </tr> <tr> <td>②荷室幅(トリム間床面)</td> <td>約1,322mm</td> </tr> <tr> <td>③荷室幅(ホイールハウス間床面)</td> <td>約1,006mm</td> </tr> <tr> <td>④荷室高(セカンドシートバック後端まで)</td> <td>約664mm</td> </tr> </table>	①荷室長	Ⓐ約1,165mm Ⓑ約1,629mm Ⓒ約2,082mm	②荷室幅(トリム間床面)	約1,322mm	③荷室幅(ホイールハウス間床面)	約1,006mm	④荷室高(セカンドシートバック後端まで)	約664mm		
標準状態 [Ⓐ]	容量 1,109 ℓ																		
セカンドシートタンブル状態 [Ⓑ]	容量 1,960 ℓ																		
セカンドシート前倒し状態 [Ⓒ]	容量 2,066 ℓ																		
①荷室長	Ⓐ約1,165mm Ⓑ約1,629mm Ⓒ約2,082mm																		
②荷室幅(トリム間床面)	約1,322mm																		
③荷室幅(ホイールハウス間床面)	約1,006mm																		
④荷室高(セカンドシートバック後端まで)	約664mm																		
<p>“OFFROAD”</p> <p>LX600 “OFFROAD”</p> <p>(5人乗り/7人乗り)</p>	 <p>7人乗り</p>	<p>■7人乗り</p>  <p>※画像はセカンドシート前倒し+サードシート両側フロア格納状態。</p> <table border="1"> <tr> <td>標準状態[Ⓐ]</td> <td>容量 174 ℓ</td> </tr> <tr> <td>サードシート両側フロア格納状態[Ⓑ]</td> <td>容量 982 ℓ</td> </tr> <tr> <td>セカンドシートタンブル+サードシート両側フロア格納状態[Ⓒ]</td> <td>容量 1,871 ℓ</td> </tr> <tr> <td>セカンドシート前倒し+サードシート両側フロア格納状態[Ⓓ]</td> <td>容量 1,977 ℓ</td> </tr> </table>	標準状態 [Ⓐ]	容量 174 ℓ	サードシート両側フロア格納状態 [Ⓑ]	容量 982 ℓ	セカンドシートタンブル+サードシート両側フロア格納状態 [Ⓒ]	容量 1,871 ℓ	セカンドシート前倒し+サードシート両側フロア格納状態 [Ⓓ]	容量 1,977 ℓ	<p>■7人乗り</p>  <p>※画像はセカンドシート前倒し+サードシート両側フロア格納状態。</p> <table border="1"> <tr> <td>①荷室長</td> <td>Ⓐ約272mm Ⓑ約1,155mm Ⓒ約1,629mm Ⓓ約2,082mm</td> </tr> <tr> <td>②荷室幅(トリム間床面)</td> <td>約1,322mm</td> </tr> <tr> <td>③荷室幅(ホイールハウス間床面)</td> <td>約1,006mm</td> </tr> <tr> <td>④荷室高</td> <td>Ⓐサードシートバック後端まで 約590mm Ⓑセカンドシートバック後端まで 約598mm</td> </tr> </table>	①荷室長	Ⓐ約272mm Ⓑ約1,155mm Ⓒ約1,629mm Ⓓ約2,082mm	②荷室幅(トリム間床面)	約1,322mm	③荷室幅(ホイールハウス間床面)	約1,006mm	④荷室高	Ⓐサードシートバック後端まで 約590mm Ⓑセカンドシートバック後端まで 約598mm
標準状態 [Ⓐ]	容量 174 ℓ																		
サードシート両側フロア格納状態 [Ⓑ]	容量 982 ℓ																		
セカンドシートタンブル+サードシート両側フロア格納状態 [Ⓒ]	容量 1,871 ℓ																		
セカンドシート前倒し+サードシート両側フロア格納状態 [Ⓓ]	容量 1,977 ℓ																		
①荷室長	Ⓐ約272mm Ⓑ約1,155mm Ⓒ約1,629mm Ⓓ約2,082mm																		
②荷室幅(トリム間床面)	約1,322mm																		
③荷室幅(ホイールハウス間床面)	約1,006mm																		
④荷室高	Ⓐサードシートバック後端まで 約590mm Ⓑセカンドシートバック後端まで 約598mm																		

※ラゲージルームの容量はVDA方式で測定。荷室高を天井までとした場合の数値です。

※ラゲージルームの寸法は社内測定値。

[価格・パッケージ比較はこちら](#)

パッケージ別主な標準装備比較

	シートマテリアル / フロントヘッドレスト	セカンドシート / リヤヘッドレスト	リヤコンソール / リヤアームレスト (セカンドシート)	サードシート (7人乗り)
<p>“EXECUTIVE”</p> <p>LX600 “EXECUTIVE”</p>	 <p>“EXECUTIVE” 専用セミアニリン本革 / 運転席上下前後調整式・助手席上下前後電動調整式ヘッドレスト</p>	 <p>“EXECUTIVE” 専用セミアニリン本革 / 大型リヤヘッドレスト (上下前後調整式)</p>	 <p>リヤコンソール</p>	<p>—</p>
<p>LX600</p> <p>(5人乗り/7人乗り)</p>	 <p>セミアニリン本革 / 上下調整式ヘッドレスト</p>	 <p>4:2:4分割可倒式シート (電動アシストタンブル機構付) / 上下調整式ヘッドレスト</p>	 <p>可倒式リヤセンターアームレスト (カップホルダー2個付)</p>	 <p>5:5分割可倒式シート (電動リクライニング機構付)</p>
<p>“OFFROAD”</p> <p>LX600 “OFFROAD”</p> <p>(5人乗り/7人乗り)</p>	 <p>セミアニリン本革 / 上下調整式ヘッドレスト</p>	 <p>4:2:4分割可倒式シート (電動アシストタンブル機構付) / 上下調整式ヘッドレスト</p>	 <p>可倒式リヤセンターアームレスト (カップホルダー2個付)</p>	 <p>5:5分割可倒式シート (電動リクライニング機構付)</p>

EQUIPMENT

レクサス LX600 主要装備一覧表

●: 標準装備 △: メーカーオプション(ご注文時に申し受けます) □: ティーラーオプション

■エクステリア

	LX600				
	"EXECUTIVE"		"OFFROAD"		
	4人乗り	5人乗り *1	7人乗り	5人乗り *1	7人乗り
	AWD				
"OFFROAD" 専用パーツ	—	—	—	●	●

■パフォーマンス

ティファレシナルロック(フロント・リヤ)	—	—	—	●	●
265/65R18 114Vタイヤ&18×7½J"OFFROAD" 専用アルミホイール(マットグレー塗装)	—	—	—	●	●
265/55R20 109Vタイヤ&20×8Jアルミホイール(切削光輝+ダークメタリック塗装)	—	●	●	—	—
265/50R22 109Vタイヤ&22×8J鍛造アルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)	*2	△	△	—	—
265/50R22 109Vタイヤ&22×8J鍛造アルミホイール(プレミアムメタリック塗装)	*2	●	—	—	—

■セーフティ

プラスサポート(急アクセル時加速抑制)/プラスサポート用スマートキー(電子キー)(カードキー)	□	□	□	□	□
SRSエアバッグシステム	運転席シングルステージ・助手席デュアルステージ/ニー/サイドエアバッグ	●	●	●	●
	セカンドシート左右席サイドエアバッグ	—	●	●	●
	カーテンシールドエアバッグ	●	●	●	●
ELR3点式シートベルト(シルク調ベルト)	"EXECUTIVE" 専用後左右席シートクッション/サイドエアバッグ	●	—	—	—
	運転席・助手席: テンションリデューサー・プリテンショナー・フォースリミッター機構付	●	●	●	●
	セカンドシート左右席: プリテンショナー・フォースリミッター機構付/ セカンドシート中央席	—	●	●	●
	サードシート左右席	—	—	●	—
"EXECUTIVE" 専用後左右席: プリテンショナー機構付	●	—	—	—	—

■機能装備

ルーフレール	●	●	●	●*3	●*3
--------	---	---	---	-----	-----

■インテリア

セミアニリン本革シート	運転席・助手席・セカンドシート左右席シートヒーター&ベンチレーション機能付	—	●	●	●	●
	サードシート	—	—	●	—	●
"EXECUTIVE" 専用セミアニリン本革シート(運転席・助手席・後左右席シートヒーター&ベンチレーション機能付)	●	—	—	—	—	
助手席電動ランバーサポート	—	●	●	●	●	
フロントヘッドレスト	上下調整式	—	●	●	●	●
	上下前後調整式	—	△*4	△*4	△*4	△*4
	運転席: 上下前後調整式/助手席: 上下前後電動調整式	●	—	—	—	—

				LX600				
				“EXECUTIVE”		“OFFROAD”		
				4人乗り	5人乗り *1	7人乗り	5人乗り *1	7人乗り
				AWD				
セカンドシート(4:2:4分割可倒式/電動アシストタンブル機構付)				—	●	●	●	●
“EXECUTIVE”専用リヤパワーシート				●	—	—	—	—
サードシート(5:5分割可倒式/電動リクライニング機構付)				—	—	●	—	●
マルチシートオートアレンジ	ウォークイン機構			—	—	●	—	●
	ラゲージスペース拡大機構			—	●	●	●	●
助手席エクストラシートスライド(114mm)				●	—	—	—	—
電動オットマン(後左席)				●	—	—	—	—
プリセットポジション(後左席)				●	—	—	—	—
リラクゼーション機能(後左右席)				●	—	—	—	—
大型リヤヘッドレスト(上下前後調整式)				●	—	—	—	—
可倒式リヤセンターアームレスト(カップホルダー2個付)				—	●	●	●	●
リヤコンソール(おくだけ充電・コントロールパネル・テーブル・カップホルダー2個・収納ボックス・充電用USB Type-C端子4個・HDMI端子・ヘッドフォンジャック2個・アクセサリソケットDC12V・120W付)				●	—	—	—	—
おくだけ充電(フロントセンターコンソール)				—*5	●	●	●	●
読書灯(後左右席)				●	—	—	—	—
シャワー空調機能&エアカーテン				●	—	—	—	—
レクサスLXプレミアムサウンドシステム				—	●	●	●	●
“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム				●	△	△	△	△
リヤシートエンターテインメントシステム				●	△*4	△*4	△*4	△*4
別体型ディスプレイ		*6		△*7	△*4*7	△*4*7	△*4*7	△*4*7
HDMI端子(1個/フロントセンターコンソール後部)				—	△*4	△*4	△*4	△*4
充電用USB Type-C端子	運転席・助手席用1個(フロントセンターコンソール)			●	●	●	●	●
	セカンドシート用2個(フロントセンターコンソール後部)			—	●	●	●	●
	サードシート用2個(クォータートリム左右)			—	—	●	—	●
トノカバー	5人乗り用			—	△*1	—	△*1	—
	“EXECUTIVE”専用セパレーター付			●	—	—	—	—
■その他								
アクセサリソケット(DC12V・120W)	1個/フロントセンターコンソール	*8		●	●	●	●	●
	1個/フロントセンターコンソール後部	*8		—	●	●	●	●

全車標準装備

- エクステリア
 - サイドステップ(一体タイプ・LED照明付)
 - ヒッチメンバー(カバー付)
- パフォーマンス
 - トルセン[®]LSD付トランスファー
 - ディファレンシャルロック(センター)
 - アクティブノイズコントロール
 - 電動パワーステアリング[EPS]
 - AHC & AVS
 - マルチテレインセレクト
 - ダウンヒルアシストコントロール
 - クロールコントロール
 - フロントφ354mmベンチレーテッドディスクブレーキ / リヤφ335mmベンチレーテッドディスクブレーキ
 - 電子制御ブレーキ[ECB]
 - グランドスベアタイヤ(床下式)
 - 電動チルト & テレスコピックステアリング(オートアウェイ & オートリターン機構付)
 - リヤスポイラー
- セーフティ
 - Lexus Safety System +
プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼] 検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式)/レーントレーシングアシスト[LTA]/ブレードスキャン[®]アダプティブハイビームシステム[AHS]/レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)/ロードサインアシスト[RSA]/ドライバー異常時対応システム / (付帯機能) 先行車発進告知機能[TMN]
 - パーキングサポートブレーキ(前後方静止物+後方接近車両+後方歩行者)[PKSB]*9
 - マルチテレインモニター*9
 - パノラミックビューモニター*9
 - ブラインドスポットモニター(停車時警報機能付)[BSM]
 - ヒルスタートアシストコントロール
 - ブレーキホールド
 - ITS Connect
 - VDIM
 - マルチテレインABS(電子制動力配分制御付)
 - ブレーキアシスト
 - VSC

■機能装備

- TRC
- 緊急ブレーキシグナル
- タイヤ空気圧警告表示(マルチインフォメーションディスプレイ表示付)
- 汎用ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー(トップテザーアンカー付/セカンドシート左右席)*10
- 三眼フルLEDヘッドランプ(ロー・ハイビーム) & LEDフロントターンシグナルランプ
- ヘッドランプクリーナー
- LEDクリアランスランプ(テイタイムランニングライト機能付)
- LEDコーナリングランプ
- フルLEDリヤコンビネーションランプ(テール・ストップ・ターンシグナル)
- リヤフォグラмп
- オートライトシステム
- ウインドシールドガラス(UVカット機能付/遮音タイプ)
- フロントドアガラス(UVカット・撥水機能付/遮音タイプ)
- リヤドアガラス(UVカット・プライバシー機能付/遮音タイプ)
- リヤクォーターガラス(UVカット・プライバシー機能付)
- バックドアガラス(UVカット・プライバシー機能付)
- 雨滴感知式オートワイパー
- オート電動格納式ドアミラー(自動防眩・鏡面リバース連動ラストメモリー付チルトダウン・メモリー・ヒーター・足元照明付)
- デジタルインナーミラー
- イルミネーテッドエントリーシステム
- インテリアイルミパッケージ
- 指紋認証スタートスイッチ
- スマートエントリー&スタートシステム(電子キー2個+カードキー1個/バックドア連動)
- パワーイージーアクセスシステム(運転席オートスライドアウェイ&リターンメモリー機能付)
- ドライブモードセレクトスイッチ(SPORT S+/SPORT S/NORMAL/COMFORT/ECO/CUSTOM)
- 全ドアワンタッチ式パワーウィンドウ
- 車速感応式オートパワードアロック(衝撃感知ドアロック解除システム付)
- サイドアイジーークローザー(フロント・リヤ)
- ムーンルーフ(チルト&スライド式)
- ハンズフリーパワーバックドア(挟み込み防止機能・停止位置メモリー機能付)

■インテリア

- TFT液晶式メーター
- 8インチTFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ
- カラーヘッドアップディスプレイ
- 本木目+本革ステアリング(パドルシフト付) & 本革シフトノブ
- ステアリングヒーター
- デジタルクロック(GPS時刻補正機能付)
- スカッフプレート(フロント[イルミネーション付]・リヤ)
- サンシェード(リヤウインドウ/マニュアル)
- クールボックス(フロントセンターコンソール)*7
- カップホルダー(フロントセンターコンソール2個、リヤコンソール/可倒式リヤセンターアームレスト2個、クォータートリム左右各2個)
- 運転席10Way・助手席8Way調整式フロントパワーシート(運転席ポジションメモリー付)
- 運転席電動ランバーサポート
- レクサス クライメイト コンシェルジュ(4席独立温度調整オートエアコン)
- ナノイーX
- クリーンエアフィルター(花粉除去・脱臭機能付)
- リヤエアコン(左右ルーフレジスター)
- 地上デジタルTVチューナー & アンテナ
- 通信・充電用USB Type-A端子(1個/フロントセンターコンソール)
- ナビゲーションシステム(3メディアVICS[VICS WIDE対応]・Bluetooth[®]携帯電話対応)
- デュアルディスプレイ(12.3インチタッチディスプレイ&7インチタッチディスプレイ)
- G-Link(初度登録日から3年間無料) ヘルプネット[®](エアバッグ連動タイプ)/レクサスオーナーズデスク/レクサス緊急サポート24/G-Security/コネクティッドナビ(車載ナビ有)/エージェント
- イモビライザー & 侵入センサー付オートアラーム & 傾斜センサー(国土交通省認可品)
- ETC2.0ユニット(VICS機能付)*11
- アクセサリーコンセント(AC100V・100W/ラゲージルーム1個)*12
- 寒冷地仕様(ウインドシールドデアイサー・PTC[補助]ヒーター等)*13 等

■その他

- *1. 5人乗り(2列シート)はメーカーオプションで、トノカバーが同時装着となります。
- *2. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
- *3. “OFFROAD”専用カラー(マットマーキュリーグレーマイカ)のルーフレールが標準装備となります。
- *4. リヤシートエンターテインメントシステムを選択した場合、上下前後調整式フロントヘッドレスト、HDMI端子(1個/フロントセンターコンソール後部)が同時装着となり、別体型ディスクプレイヤーを選択することができます。
- *5. おくだけ充電はリヤコンソールに設置され、フロントコンソールはトレイとなります。
- *6. ディスクによっては再生できない場合があります。なお、CD/DVDのみ再生可能です。
- *7. 別体型ディスクプレイヤーを選択した場合、クールボックスは収納ボックス(照明付)となります。
- *8. 合計120Wの電気製品をご使用ください。ただし、120W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。
- *9. 字光式ナンバープレートは装着できません。
- *10. チャイルドシートは汎用ISOFIX対応チャイルドシート(新保安基準適合)のみ使用できます。それ以外のチャイルドシートは、シートベルトでの固定となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

- *11. ETC2.0ユニットは新しいセキュリティ規格に対応しています。また、セットアップ費用が別途必要となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
- *12. 100W以下の電気製品をご使用ください。ただし、100W以下の電気製品でも正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用になる前に必ず製品の取扱書をご覧ください。周波数切替(50Hz/60Hz)につきましてはレクサス販売店におたずねください。一部自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させた場合、条例にふれる可能性がありますのでご注意ください。
- *13. 寒冷地仕様では寒冷地での使用を考慮した装備の充実を図っています。
※「メーカーオプション」はご注文時に申し受けます。メーカーの工場では装着するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。
※“EXECUTIVE” “OFFROAD”はグレード名称ではありません。

SPECIFICATIONS

レクサス LX600 主要諸元表

		LX600				
		“EXECUTIVE”		“OFFROAD”		
		4人乗り	5人乗り *1	7人乗り	5人乗り *1	7人乗り
		AWD				
■車両型式 *2		3BA-VJA310W-GKULZ				
■寸法						
全長	mm	5,100				
全幅	mm	1,990				
全高	mm	1,895	1,885 *3		1,885	
ホイールベース	mm	2,850				
トレッド	mm	1,675				
	mm	1,675				
最低地上高 *4	mm	210	200 *5		200	
最小回転半径	m	6.0				
室内長 *4	mm	2,005	1,950	2,755	1,950	2,755
室内幅 *4	mm	1,630				
室内高 *4	mm	1,190				
■重量						
車両重量	kg	2,600	2,550 *6*7	2,590 *6*7	2,540 *6	2,580 *6
車両総重量	kg	2,820	2,825 *6*7	2,975 *6*7	2,815 *6	2,965 *6
■定員						
乗車定員	名	4	5	7	5	7
■性能						
燃料消費率 (国土交通省審査値)	WLTCモード	km/ℓ	8.0		8.1	
	市街地モード	km/ℓ	5.5			
	郊外モード	km/ℓ	8.3		8.4	
	高速道路モード	km/ℓ	9.7		9.8	
主要燃費改善対策		筒内直接噴射、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング				
■エンジン						
型式	V35A-FTS					
種類	V型6気筒インタークーラー付ツインターボ					
使用燃料	無鉛プレミアムガソリン					
総排気量	ℓ	3,444				
内径×行程	mm	85.5×100.0				
最高出力[NET]	kW(PS)/r.p.m.	305(415)/5,200				
最大トルク[NET]	N・m(kgf・m)/r.p.m.	650(66.3)/2,000~3,600				
燃料供給装置	筒内直接+ポート燃料噴射装置(D-4ST)					
燃料タンク容量	ℓ	80				

		LX600				
		“EXECUTIVE”		“OFFROAD”		
		4人乗り	5人乗り *1	7人乗り	5人乗り *1	7人乗り
		AWD				
■駆動装置						
駆動方式	4輪駆動					
トランスミッション	Direct Shift-10AT(電子制御10速オートマチック)					
第1速	4.923					
第2速	3.257					
第3速	2.349					
第4速	1.944					
第5速	1.532					
第6速	1.193					
第7速	1.000					
第8速	0.801					
第9速	0.661					
第10速	0.613					
後退	4.3077					
減速比	3.307					
■その他装置						
サスペンション	前/後	ダブルウィッシュボーン(スタビライザー付)/トレーリングリンク(スタビライザー付)				
ブレーキ	前/後	ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク				

- *1. 2列シート・5人乗りはメーカーオプションです。
- *2. 車両型式の末尾に“EXECUTIVE”は(-E)、“OFFROAD”は(-O)が付きます。
- *3. 265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)を装着した場合、全高は1,895mmとなります。
- *4. 社内測定値。
- *5. 265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)を装着した場合、210mmとなります。
- *6. リヤシートエンターテインメントシステムを装着した場合、10kg増加します。
- *7. 265/50R22タイヤ&鍛造アルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)を装着した場合、10kg増加します。

※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 ※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。
 ※エンジン出力表示にはネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値(自工会調べ)となっています。

■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値 ■製造事業者: トヨタ自動車株式会社

PRICE LIST

レクサス LX600 価格表

●:標準装備 ()内は消費税抜き価格

LX600				
“EXECUTIVE”		“OFFROAD”		
4人乗り	5人乗り	7人乗り	5人乗り	7人乗り
AWD				

■ 車両価格表

メーカー希望小売価格 *1 (消費税抜き)	18,000,000円 (16,363,636円)	12,500,000円 (11,363,636円)	12,900,000円 (11,727,273円)
--------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

■ メーカーオプション価格表

■ ボディカラー

マンガンラスター<1K2>	165,000円 (150,000円)
---------------	------------------------

■ パフォーマンス

265/50R22 109Vタイヤ&22×8J鍛造アルミホイール(切削光輝+ブラック塗装) *2	—	385,000円 (350,000円)	—
--	---	------------------------	---

■ インテリア

オーナメントパネル アートウッド(鷹羽)	110,000円 (100,000円)	—
“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム	●	273,900円 (249,000円)
リヤシートエンターテインメントシステム	+HDMI端子 (リヤコンソール) ●	+HDMI端子(1個/フロントセンターコンソール後部) +上下前後調整式フロントヘッドレスト 287,100円 (261,000円)
別体型ディスクプレイヤー *3	-7,700円 (-7,000円)	+リヤシートエンターテインメントシステム +HDMI端子(1個/フロントセンターコンソール後部) +上下前後調整式フロントヘッドレスト 279,400円 (254,000円)

*1. 価格にはオプション価格は含まれません。

*2. タイヤチェーンを装着することはできません。

*3. 別体型ディスクプレイヤーを選択した場合、クールボックスは収納ボックス(照明付)となります。

※価格はメーカー希望小売価格<'22年1月現在のもの>で参考価格です。価格はレクサス販売店が独自に定めていますので、詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※保険料、税金(除く消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。

■ リサイクル料金表 自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

全車	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
	13,250円	1,930円	—	130円	290円	15,600円

※リサイクル料金は'22年1月時点の金額。

※リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者(譲受人)からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

**P21**

Photo: LX600“EXECUTIVE”。ボディカラーのマンガンラスタ（1K2）はメーカーオプション。

**P29**

Photo: LX600（5人乗り）。インテリアカラーはヘーゼル。オーナメントパネルは縞空（ブラック）。“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム、リヤシートエンターテインメントシステム+上下前後調整式フロントヘッドレスト+HDMI端子（1個/フロントセンターコンソール後部）はメーカーオプション。

**P40**

Photo: LX600“EXECUTIVE”。インテリアカラーはサンフレアブラウン。オーナメントパネルのアートウッド（鷹羽）はメーカーオプション。

**P47-48**

Photo: LX600“OFFROAD”（5人乗り）。ボディカラーはソニックチタニウム（1J7）。

※写真の一部は合成です。

※室内写真には機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルが含まれています。

※室内写真の計器盤は機能説明のために各ランプを点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。

※ナビゲーション画面および一部のディスプレイは合成です。

※装備および機能紹介の写真の一部はイメージです。

※一部の画像は海外仕様など、実際の仕様と異なる場合があります。

※Apple CarPlay /Android Auto™をご利用の際は通信料が発生します。契約携帯電話会社の料金プランなどをご確認の上ご利用ください。

※G-Linkセンターとは、車両へのテレマティクスサービス専用構築したデータセンターのことです。

※G-Linkは、新車・CPO（レクサス認定中古車）をご購入いただいたお客さまに限り、ご提供いたします。ご利用には別途契約が必要となります。G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録後3年間無料、CPOご購入の場合は納車予定日から2年後の月末まで無料です。無料期間終了後のG-Link基本料や利用手続きについては、レクサス販売店にお問い合わせください。G-Linkは、LTE（Long Term Evolution）通信を利用しており、電波の届かない場所ではご利用になれません。G-Linkはトヨタコネクティッド（株）およびトヨタ自動車（株）が提供するサービスです。

※本革シートの一部に合成皮革を使用しています。

※バージョンおよびシートマテリアルにより、シート各部の素材や色が異なります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、タイヤ空気圧警告表示、スマートエントリー&スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ティーラーオプション）の電波およびおくだけ充電の充電動作が医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあります。タイヤ空気圧警告表示については、車両左側、前後のホイールハウス内に搭載された発信アンテナから約45cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。スマートエントリー&スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ティーラーオプション）については、車両に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。おくだけ充電のご使用にあたっては、医師とよくご相談ください。電波発信および充電機能を停止することもできます。詳しくはレクサス販売店にご相談ください。

ABBREVIATION

■ ABS: Anti-lock Brake System

■ AHC: Active Height Control suspension

■ AHS: Adaptive High-beam System

■ AVS: Adaptive Variable Suspension system

■ AWD: All Wheel Drive

■ BSM: Blind Spot Monitor

■ CST: Coherent Source Transducer

■ CVSS: Connected Vehicles Support Systems

■ D-4ST: Direct-injection 4 stroke gasoline engine Superior version with Turbo

■ DSSS: Driving Safety Support Systems

■ ECB: Electronically Controlled Brake system

■ ELR: Emergency Locking Retractor

■ EPS: Electric Power Steering

■ LTA: Lane Tracing Assist

■ OTA: Over The Air

■ PKSB: Parking Support Brake

■ RSA: Road Sign Assist

■ PTC: Positive Temperature Coefficien（自己温度制御システム）

■ SRS: Supplemental Restraint System（乗員保護補助装置）

■ TFT: Thin Film Transistor

■ TMN: Traffic Movement Notification

■ TRC: Traction Control

■ TWB: Tailor Welded Blank

■ VDIM: Vehicle Dynamics Integrated Management

■ VSC: Vehicle Stability Control

TRADEMARK

■ ブレードスキャン®は株式会社小糸製作所の登録商標です。

■ G-Linkは東京ガス株式会社の登録商標で、使用許諾を受けて使用しています。

■ 「ITS Connect」はITS Connect推進協議会の商標です。

■ “ヘルプネット®”は（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

■ Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

■ AppleおよびAppleロゴ、Apple CarPlay、iPhoneは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。App Storeは Apple Inc.のサービスマークです。

■ Android、Android Auto™は、Google LLCの商標です。

■ Bluetooth®はBluetooth SIG,Inc.の商標です。

■ マークレビンソン、Quantum Logic™およびClari-Fi™（クラリファイ）はハーマンインターナショナルインダストリーズ社の商標です。

■ ハイレゾオーディオロゴは、日本オーディオ協会の登録商標です。

■ 「おくだけ充電」、「おくだけ充電」ロゴは株式会社NTTドコモの登録商標です。

■ トルセン®、TORSEN®は（株）ジェイテクトの登録商標です。

■ nanoe、ナノイーおよびnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。

■ “LEXUS” “D-4ST” “ECB” “VDIM” “VSC” “TRC”はトヨタ自動車（株）の商標です。

■ 「VICS」は一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。